

第3章 調査結果の分析

1 定住性

-
- (1) 居住地域の評価
 - (2) 地域の暮らしやすさ
 - (3) 特に暮らしにくいと感じること
 - (4) 定住意向
-

1 定住性

(1) 居住地域の評価

問1 あなたは、お住まいの地域について、どのように感じていますか（○はそれぞれ1つずつ）。

■ 〈普段の買い物が便利である〉が約8割、〈通勤や通学などの交通の便が良い〉が7割強

ア 単純集計・経年比較／居住地域の評価

(ア) 住んでいる地域について感じていることについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、以下のとおりである。

- ① 〈普段の買い物が便利である〉(79.2%)
- ② 〈通勤や通学などの交通の便が良い〉(71.2%)
- ③ 〈落書きが減少したと感じる〉(69.6%)
- ④ 〈快適で安全なまちである〉(63.1%)

(イ) 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた【そう思わない】の高い順でみると、以下のとおりである。

- ① 〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉(59.7%)
- ② 〈文化芸術に親しめるまちである〉(43.7%)
- ③ 〈景観・街並みが良好である〉(39.6%)

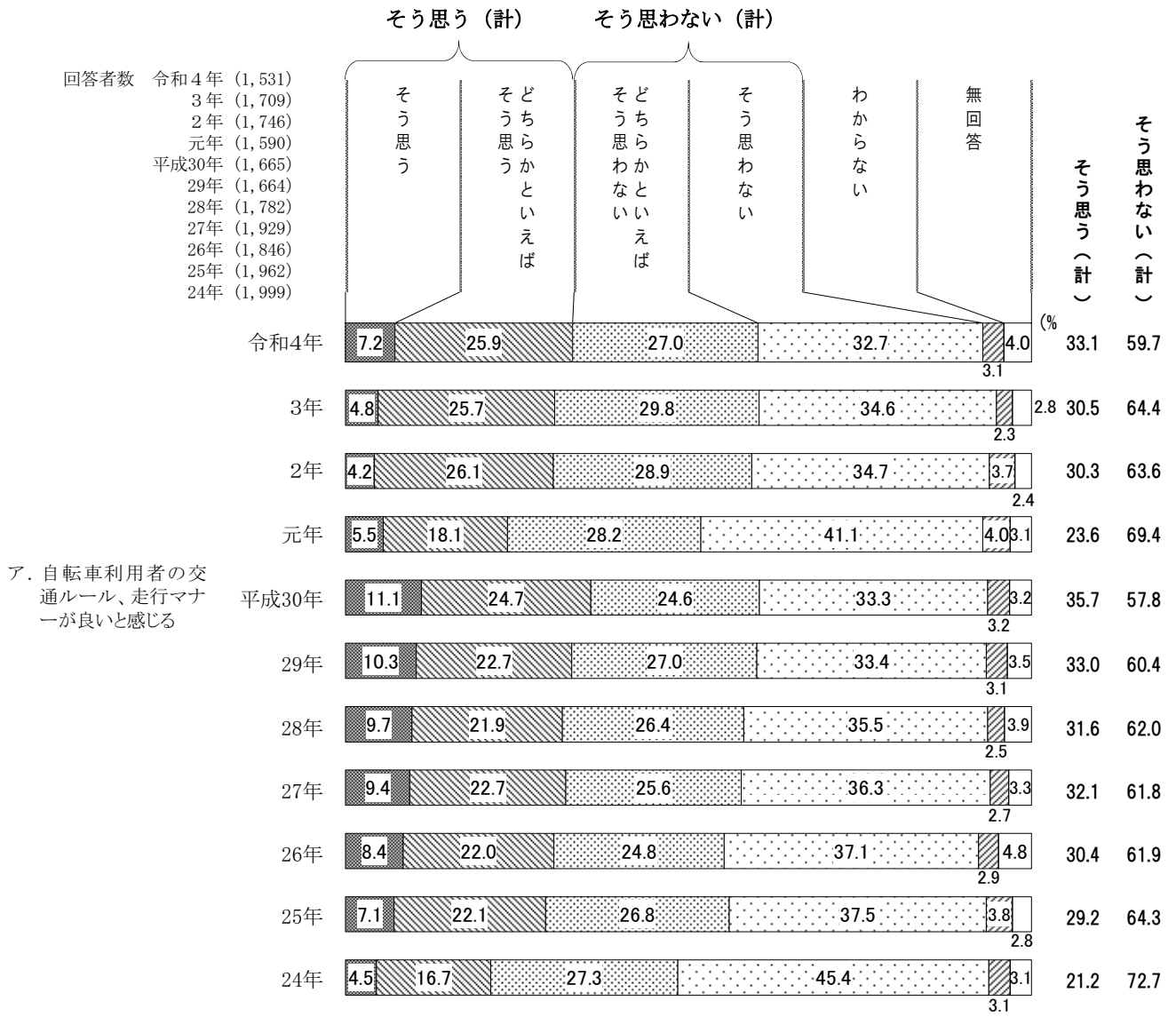
(ウ) 経年で比較した場合に【そう思う】の増加幅が大きい項目は、以下のとおりである。

- ① 〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉(+2.6ポイント)
- ② 〈通勤や通学などの交通の便が良い〉(+2.3ポイント)

(エ) 経年で比較すると、新設項目を除く16項目のうち10項目で【そう思う】が令和3年調査に比べて減少している。減少幅が大きい項目は、以下の2項目である。

- ① 〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉
(-4.1ポイント)
- ② 〈国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである〉(-3.2ポイント)

図1-1-1-① 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

図1-1-1-③ 経年比較／居住地域の評価

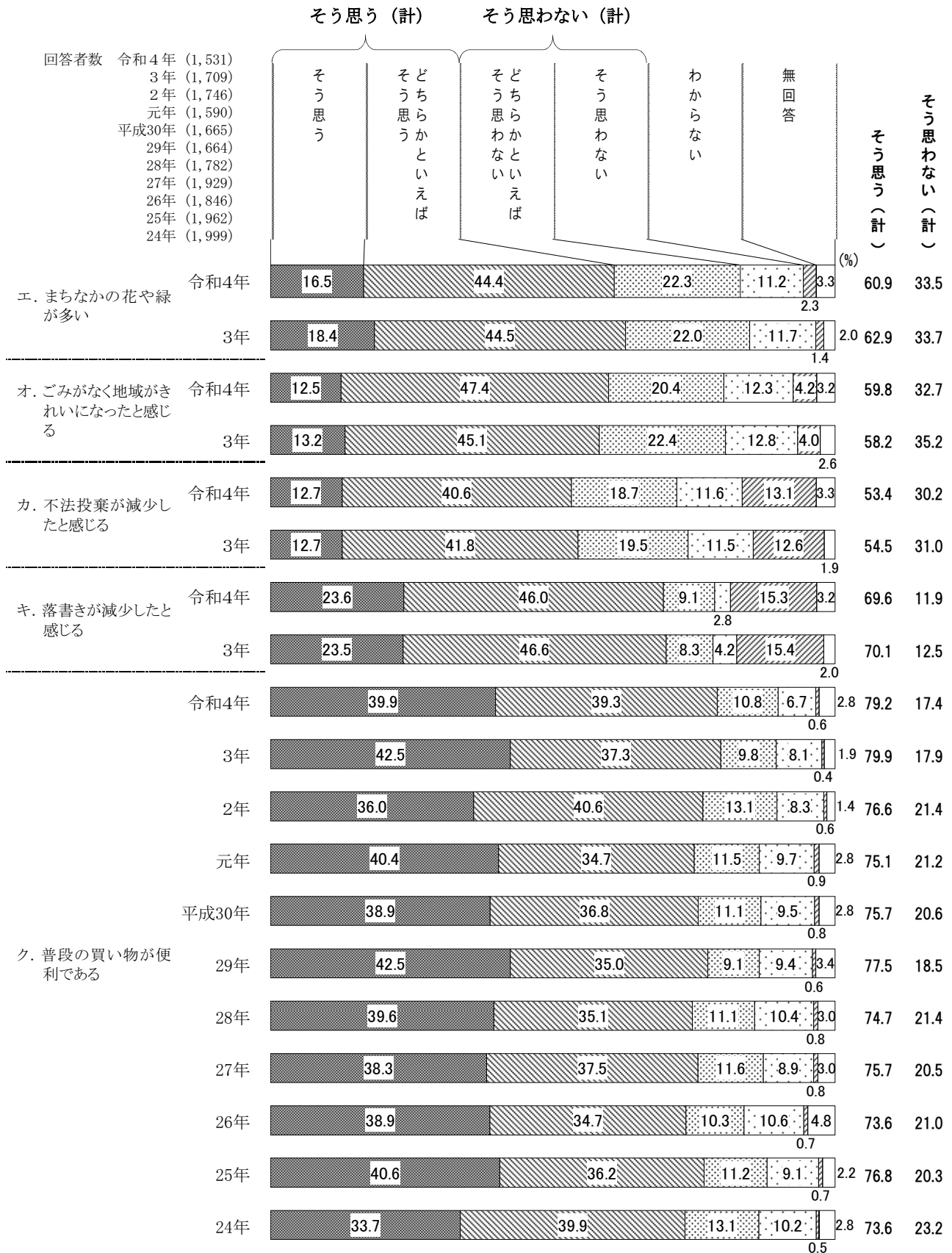
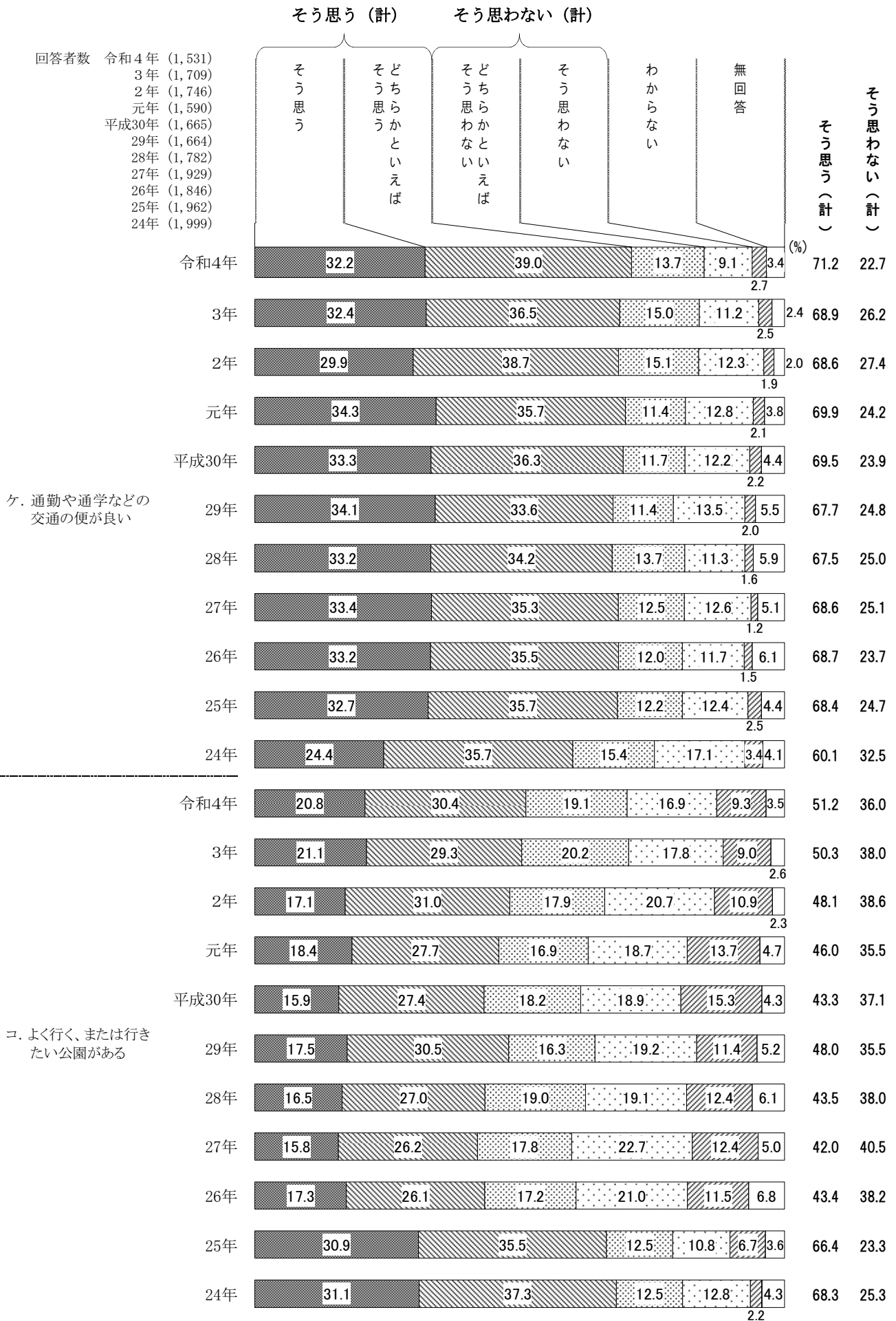


図1-1-1-④ 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

図1-1-1-⑤ 経年比較／居住地域の評価

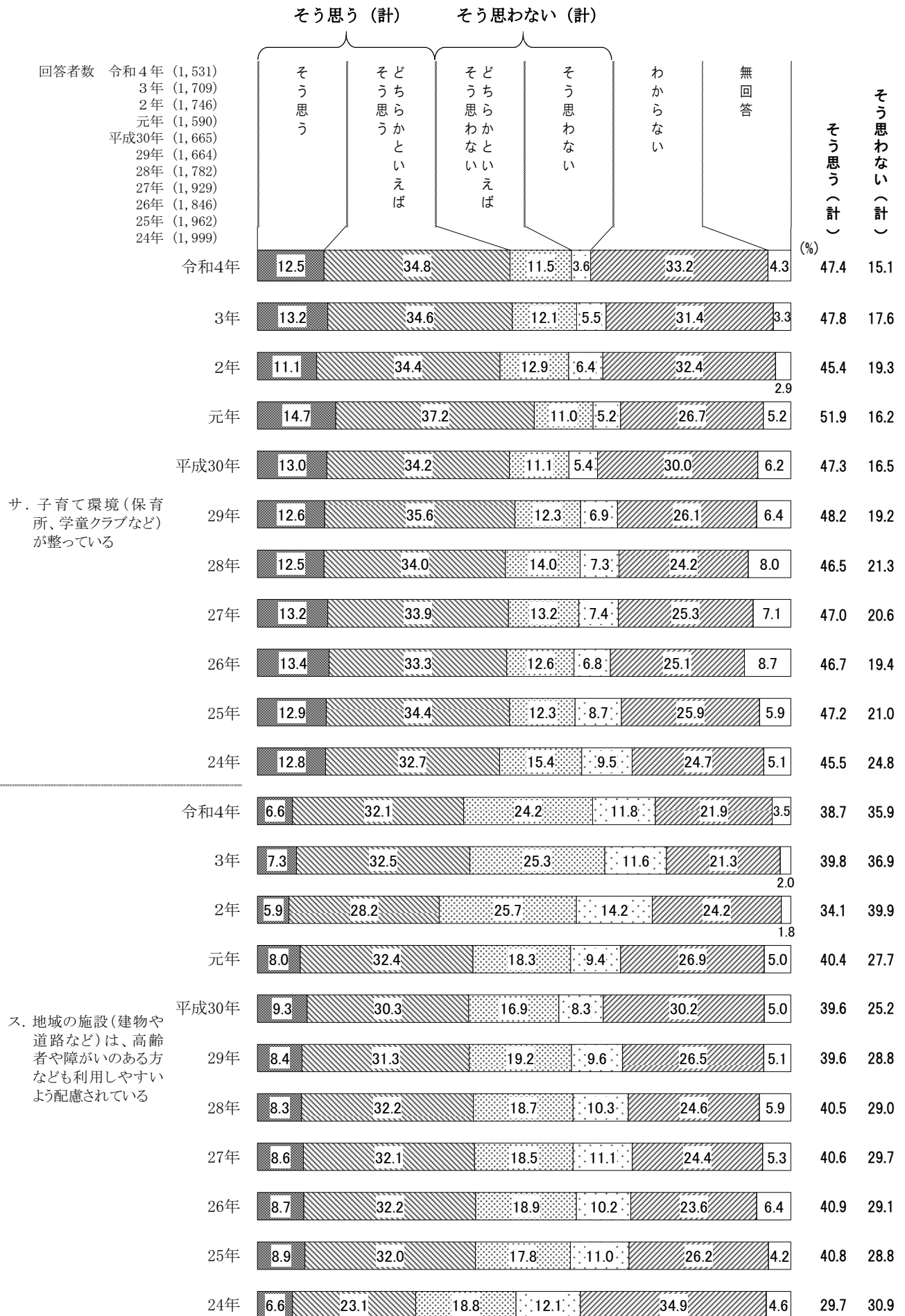
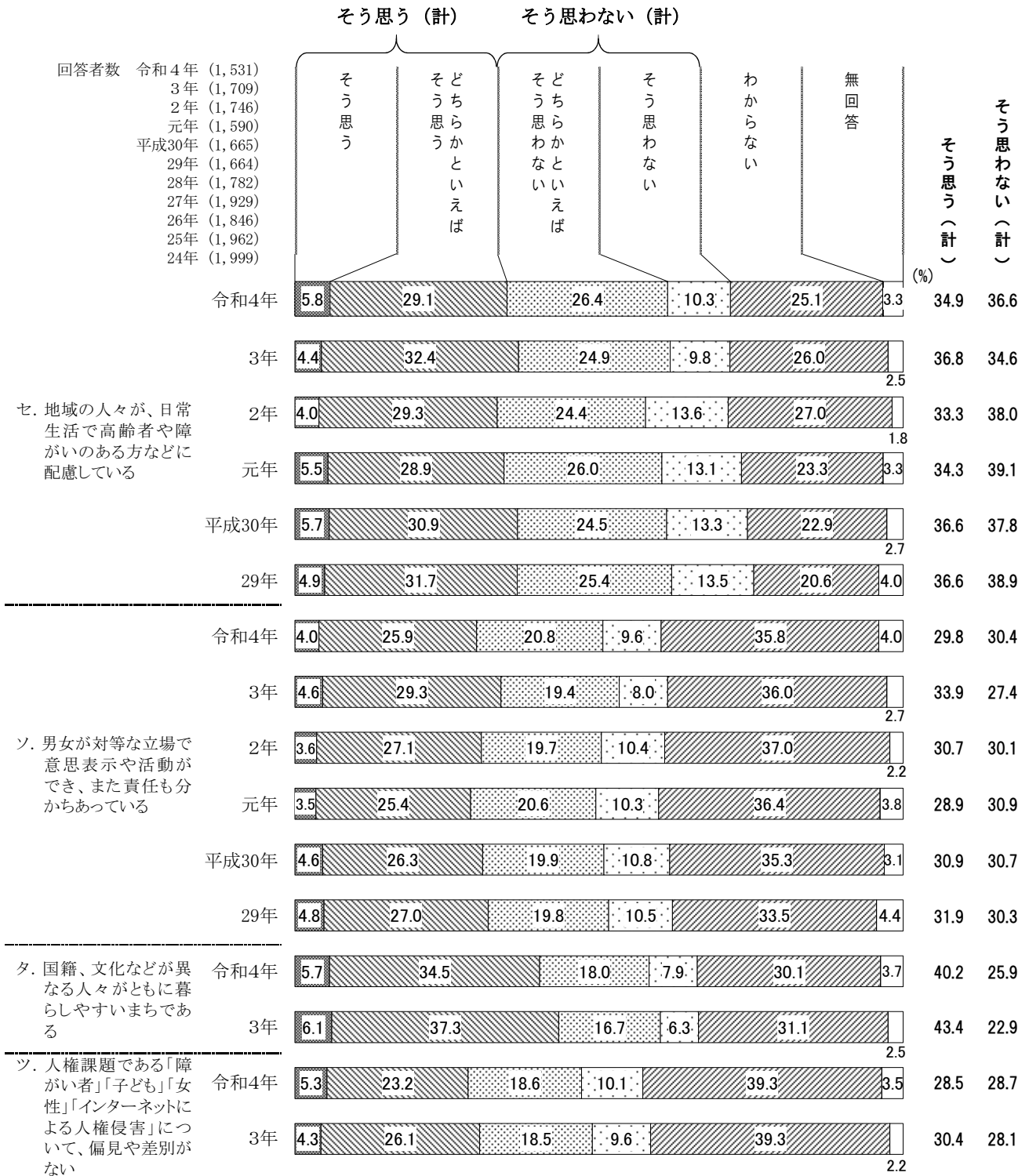
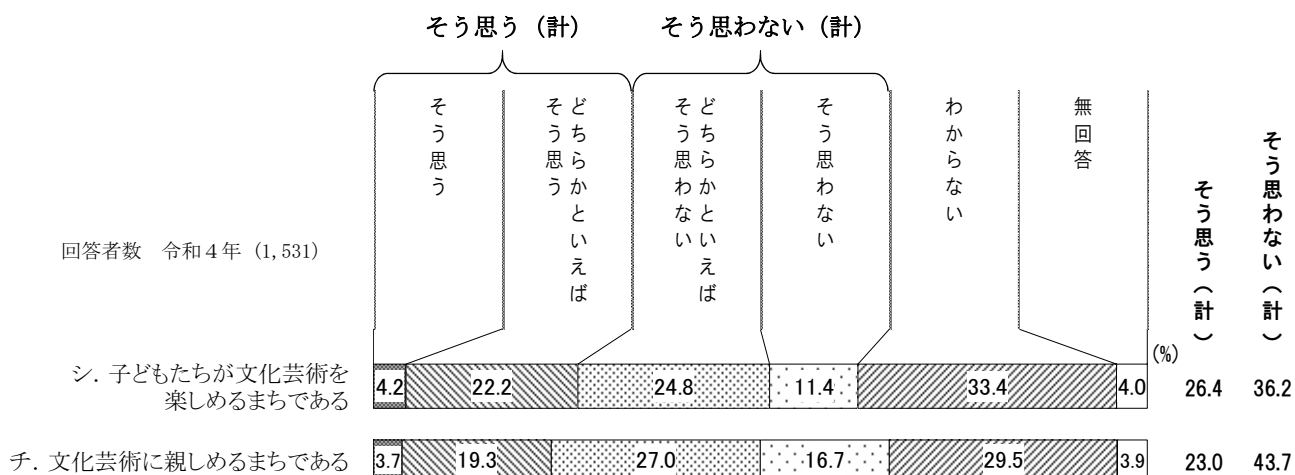


図1-1-1-⑥ 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析（定住性）

図1-1-1-⑦ 経年比較／居住地域の評価



- ※ アは、令和元年度「自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている」から表現をかえた。
- ※ イは、平成28年度「快適で安全なまちづくりが進められている」から表現をかえた。
- ※ ウは、平成28年度「景観・街並みが魅力的になってきている」から表現をかえた。
- ※ コは、平成25年度「利用しやすい公園がある」から表現をかえた。
- ※ シ、チは、今回の令和4年度からの新設項目。
- ※ スは、平成24年度「高齢者や障がいのある方も施設が利用しやすい」から表現をかえて、令和2年度に「地域の施設」の部分を「地域の施設（建物や道路など）」に表現をかえた。

イ クロス集計・地域別／居住地域の評価／

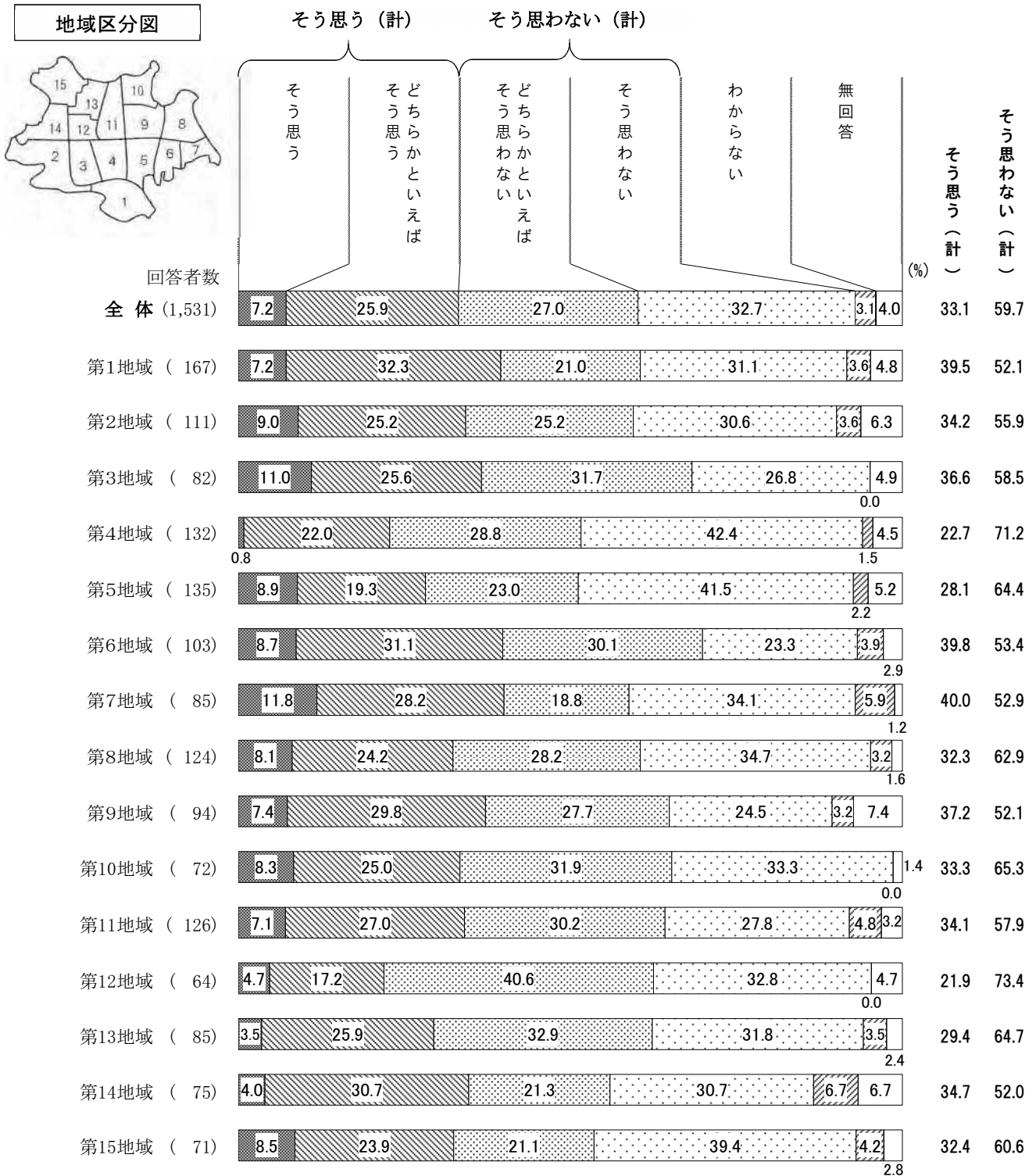
自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる

次に、各項目について、地域別でみた。

〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉について、【そう思う】は第7地域で40.0%と最も高く、次いで第6地域が39.8%となっている。一方、【そう思わない】は第12地域で73.4%と最も高く、次いで第4地域が71.2%となっている。

図1-1-2-① 地域別／居住地域の評価

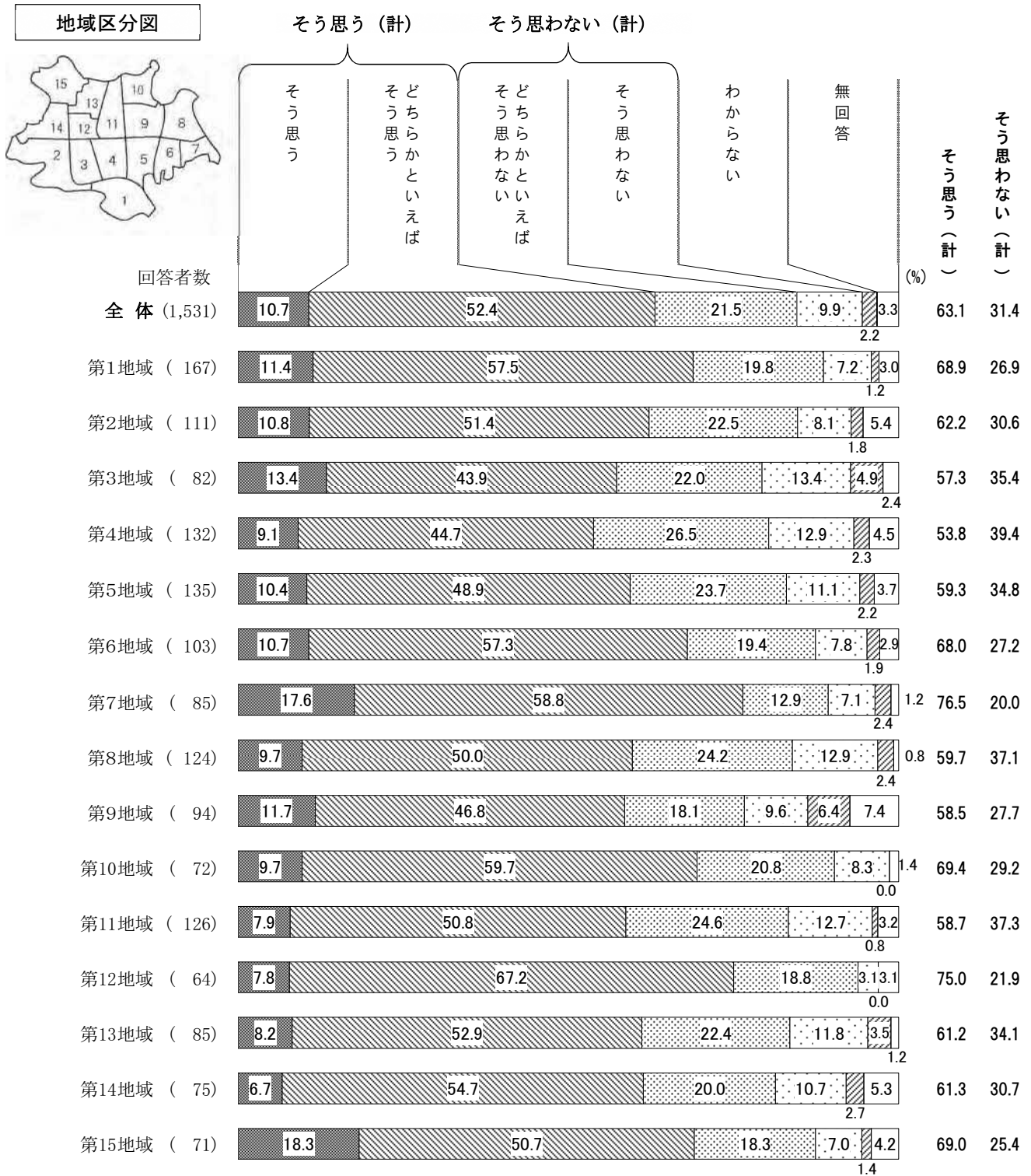
／自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる



ウ クロス集計・地域別／居住地域の評価／快適で安全なまちである

〈快適で安全なまちである〉について、【そう思う】は第7地域で76.5%と最も高く、次いで第12地域が75.0%となっている。一方、【そう思わない】は第4地域で39.4%と最も高く、次いで第11地域が37.3%となっている。

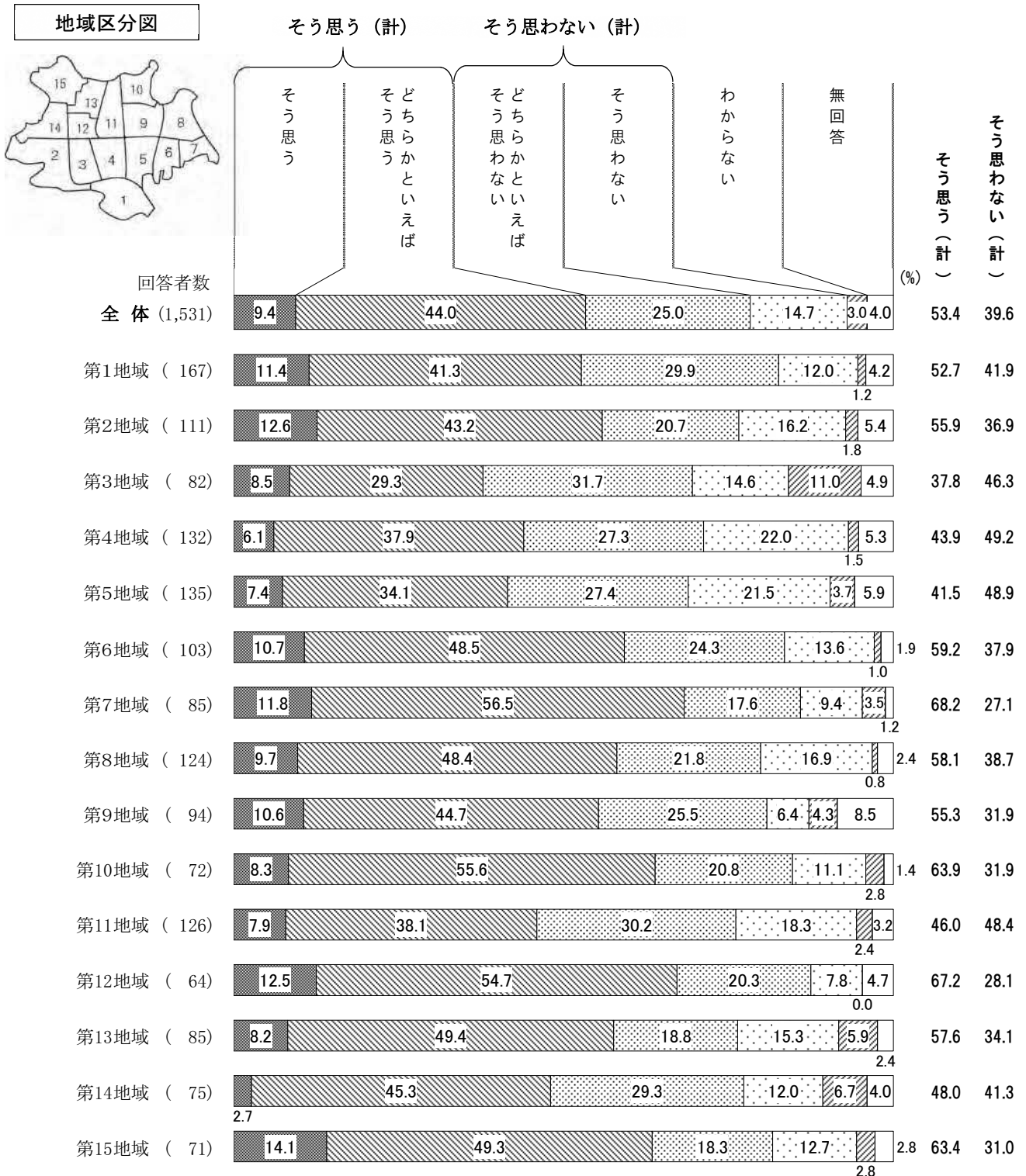
図1-1-2-② 地域別／居住地域の評価／快適で安全なまちである



エ クロス集計・地域別／居住地域の評価／景観・街並みが良好である

〈景観・街並みが良好である〉について、【そう思う】は第7地域で68.2%と最も高く、次いで第12地域が67.2%となっている。一方、【そう思わない】は第4地域で49.2%と最も高く、次いで第5地域が48.9%、僅差で第11地域が48.4%が続いている。

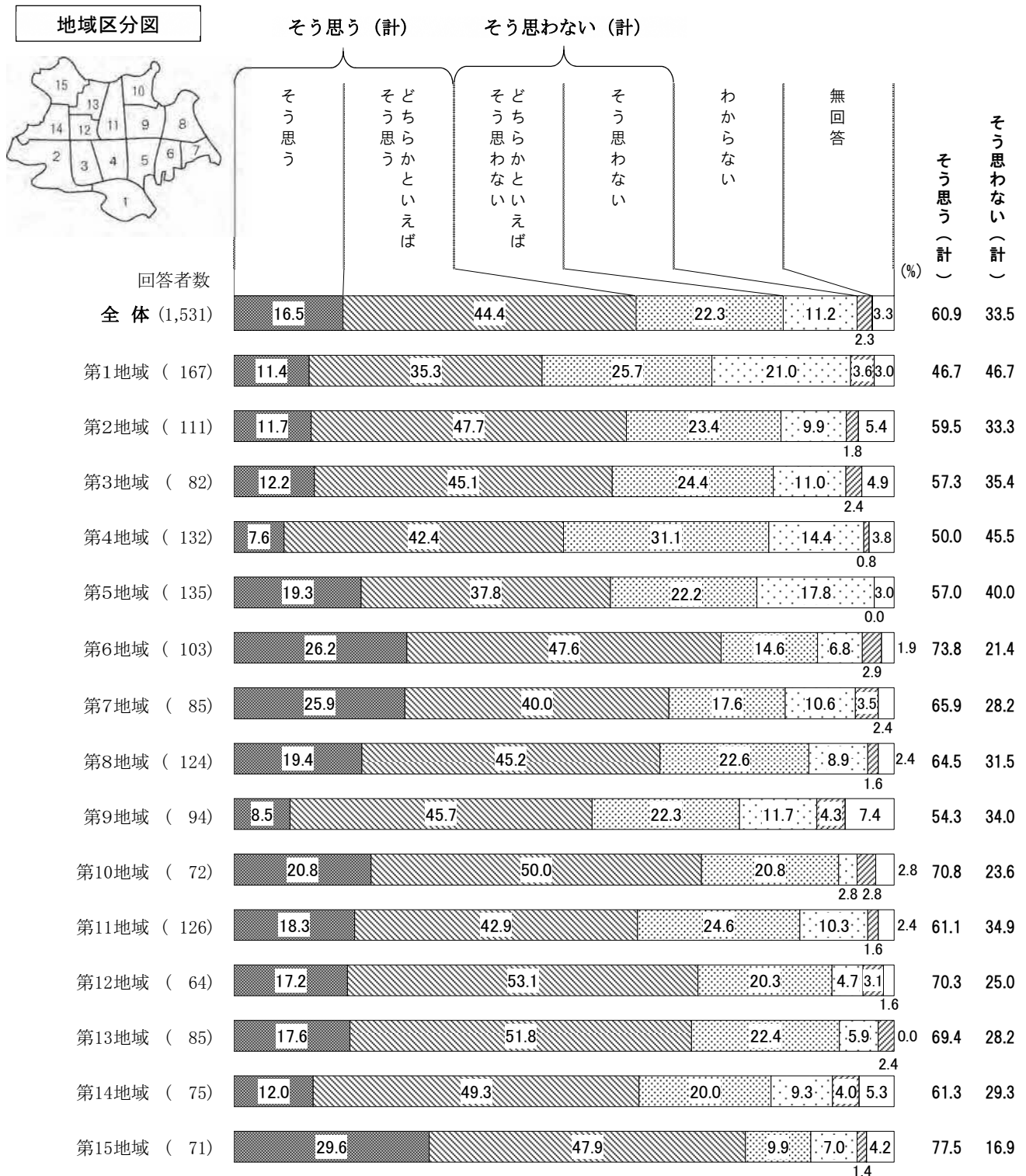
図1-1-2-③ 地域別／居住地域の評価／景観・街並みが良好である



オ クロス集計・地域別／居住地域の評価／まちなかの花や緑が多い

〈まちなかの花や緑が多い〉について、【そう思う】は第15地域が77.5%で最も高く、次いで第6地域が73.8%となっている。一方、【そう思わない】は第1地域で46.7%と最も高く、次いで第4地域が45.5%となっている。

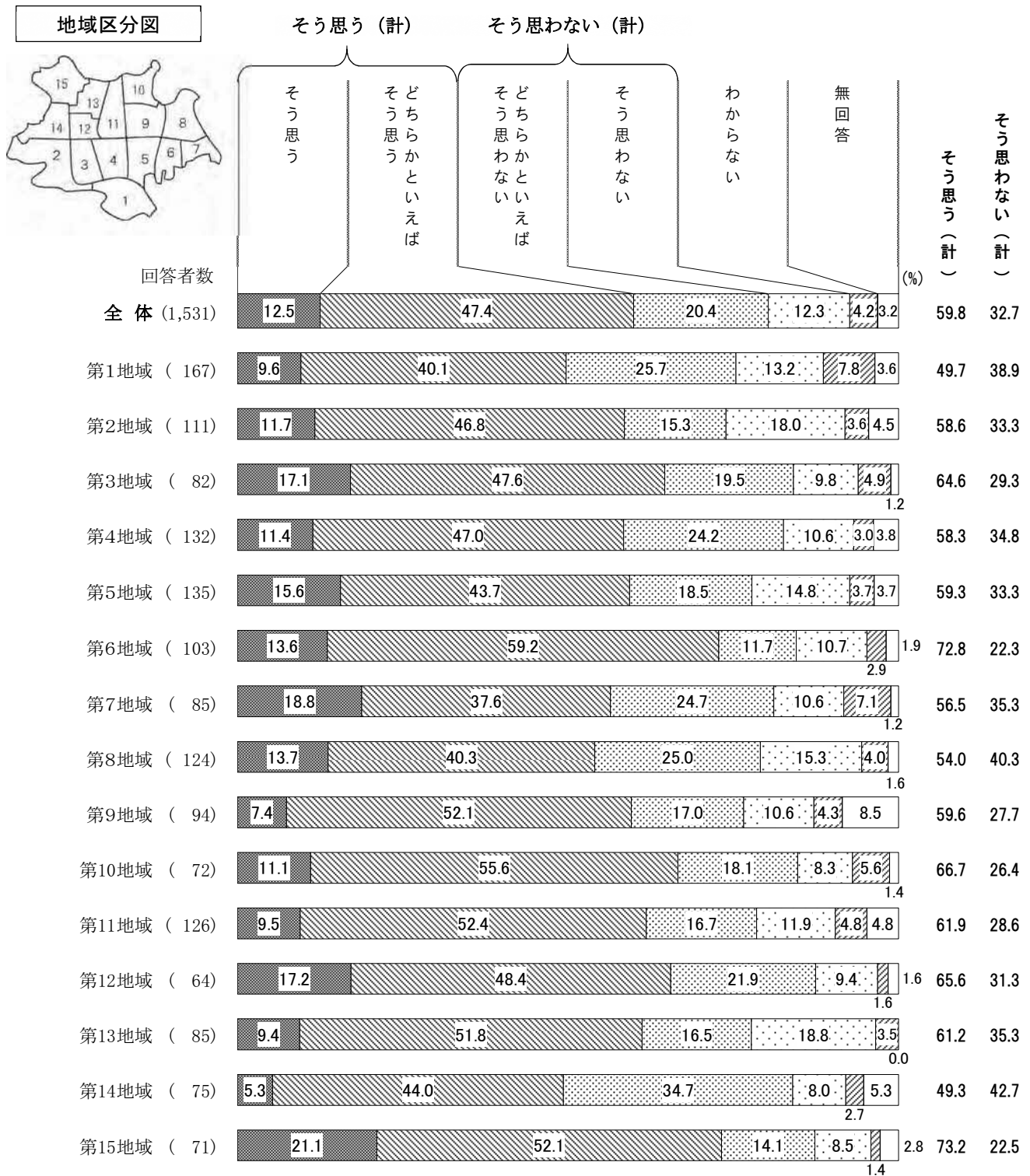
図1-1-2-④ 地域別／居住地域の評価／まちなかの花や緑が多い



カ クロス集計・地域別／居住地域の評価／ごみがなく地域がきれいになったと感じる

〈ごみがなく地域がきれいになったと感じる〉について、【そう思う】は第15地域が73.2%と最も高く、次いで第6地域が72.8%となっている。一方、【そう思わない】は第14地域で42.7%と最も高く、次いで第8地域が40.3%となっている。

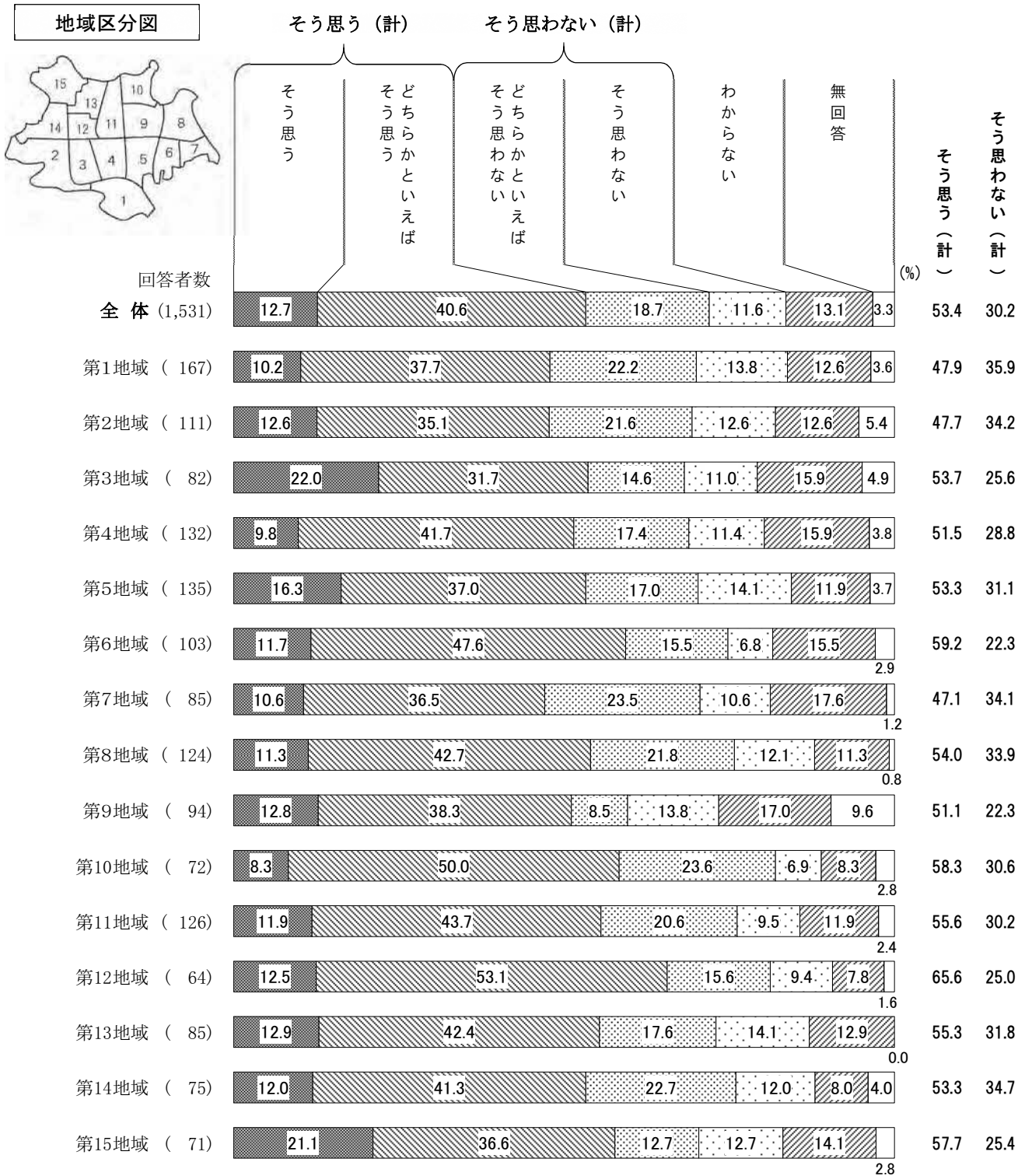
図1-1-2-⑤ 地域別／居住地域の評価／ごみがなく地域がきれいになったと感じる



キ クロス集計・地域別／居住地域の評価／不法投棄が減少したと感じる

〈不法投棄が減少したと感じる〉について、【**そう思う**】は第12地域で65.6%と最も高く、次いで第6地域が59.2%となっている。一方、【**そう思わない**】は第1地域で35.9%と最も高く、次いで第14地域が34.7%となっている。

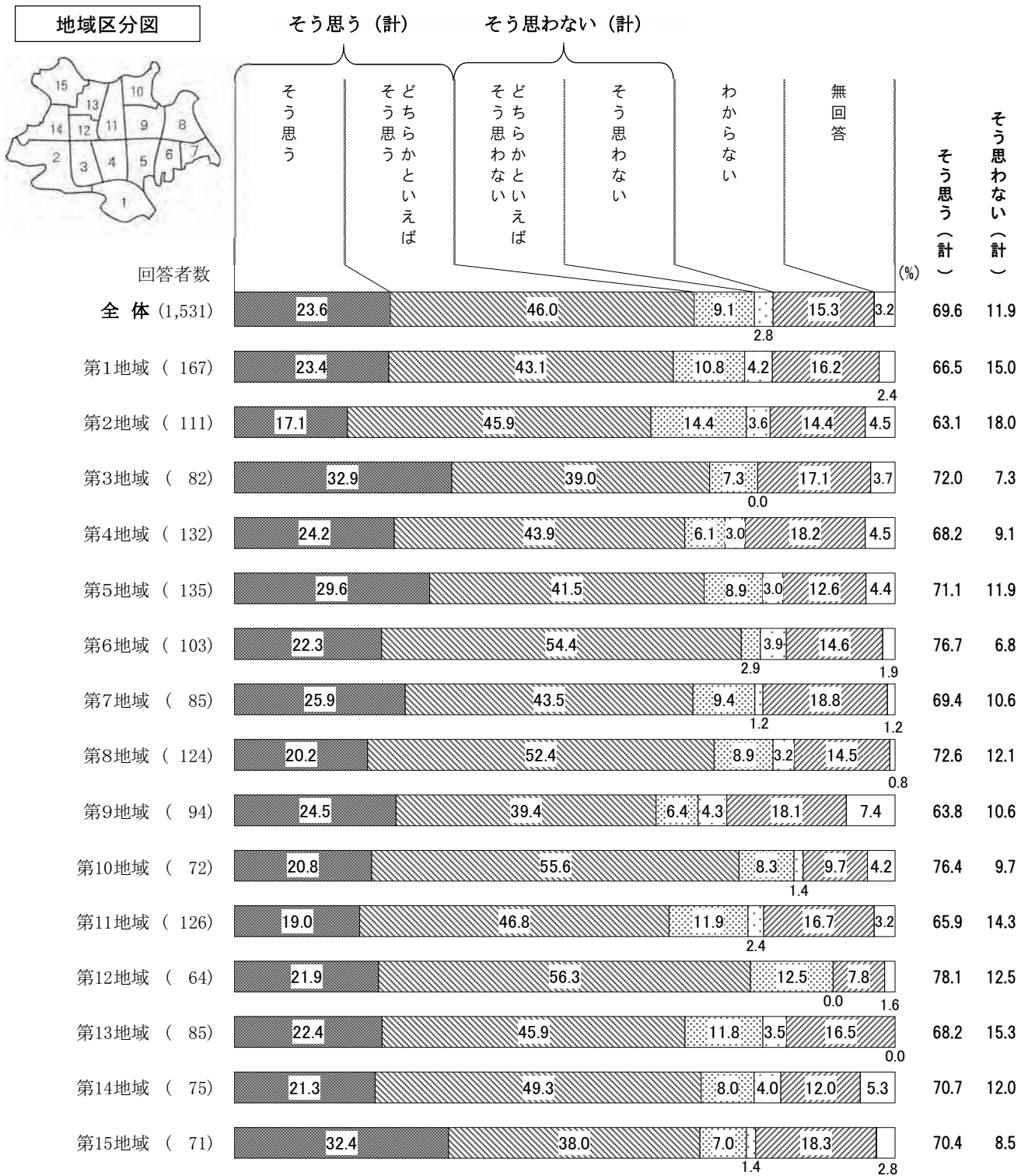
図1-1-2-⑥ 地域別／居住地域の評価／不法投棄が減少したと感じる



ク クロス集計・地域別／居住地域の評価／落書きが減少したと感じる

〈落書きが減少したと感じる〉について、【そう思う】は第12地域で78.1%と最も高く、次いで第6地域が76.7%、僅差で第10地域が76.4%と続いている。一方、【そう思わない】は第2地域で18.0%と最も高く、次いで第13地域が15.3%となっている。

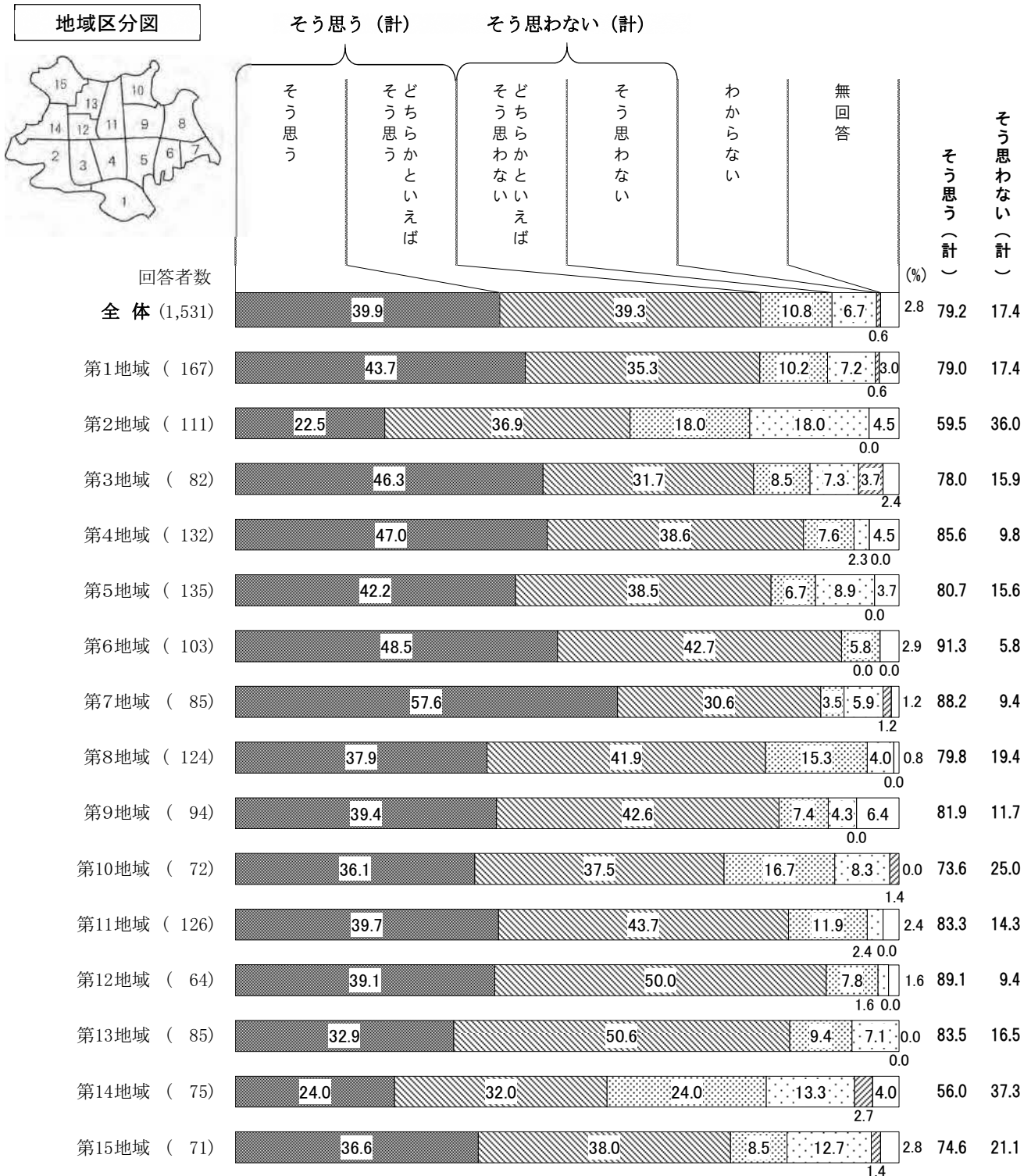
図1-1-2-⑦ 地域別／居住地域の評価／落書きが減少したと感じる



ケ クロス集計・地域別／居住地域の評価／普段の買い物が便利である

〈普段の買い物が便利である〉について、【そう思う】は第6地域が91.3%で最も高く、次いで第12地域で89.1%となっている。一方、【そう思わない】は第14地域が37.3%で最も高く、次いで第2地域で36.0%となっている。

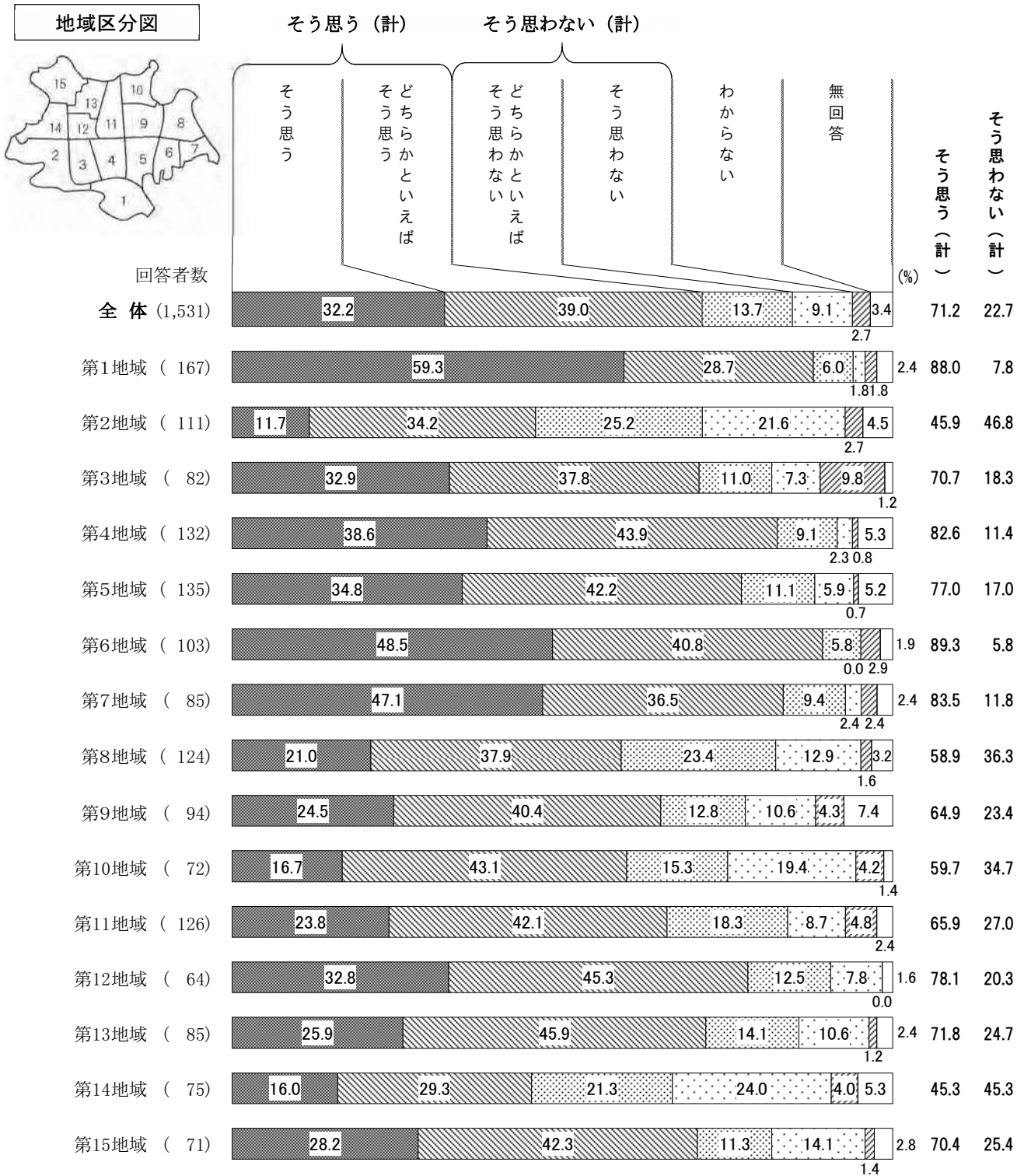
図1-1-2-⑧ 地域別／居住地域の評価／普段の買い物が便利である



コ クロス集計・地域別／居住地域の評価／通勤や通学などの交通の便が良い

〈通勤や通学などの交通の便が良い〉について、【**そう思う**】は第6地域が89.3%と最も高く、次いで第1地域が88.0%となっている。一方、【**そう思わない**】は第2地域で46.8%と最も高く、次いで第14地域が45.3%となっており、この2地域が特に高くなっている。

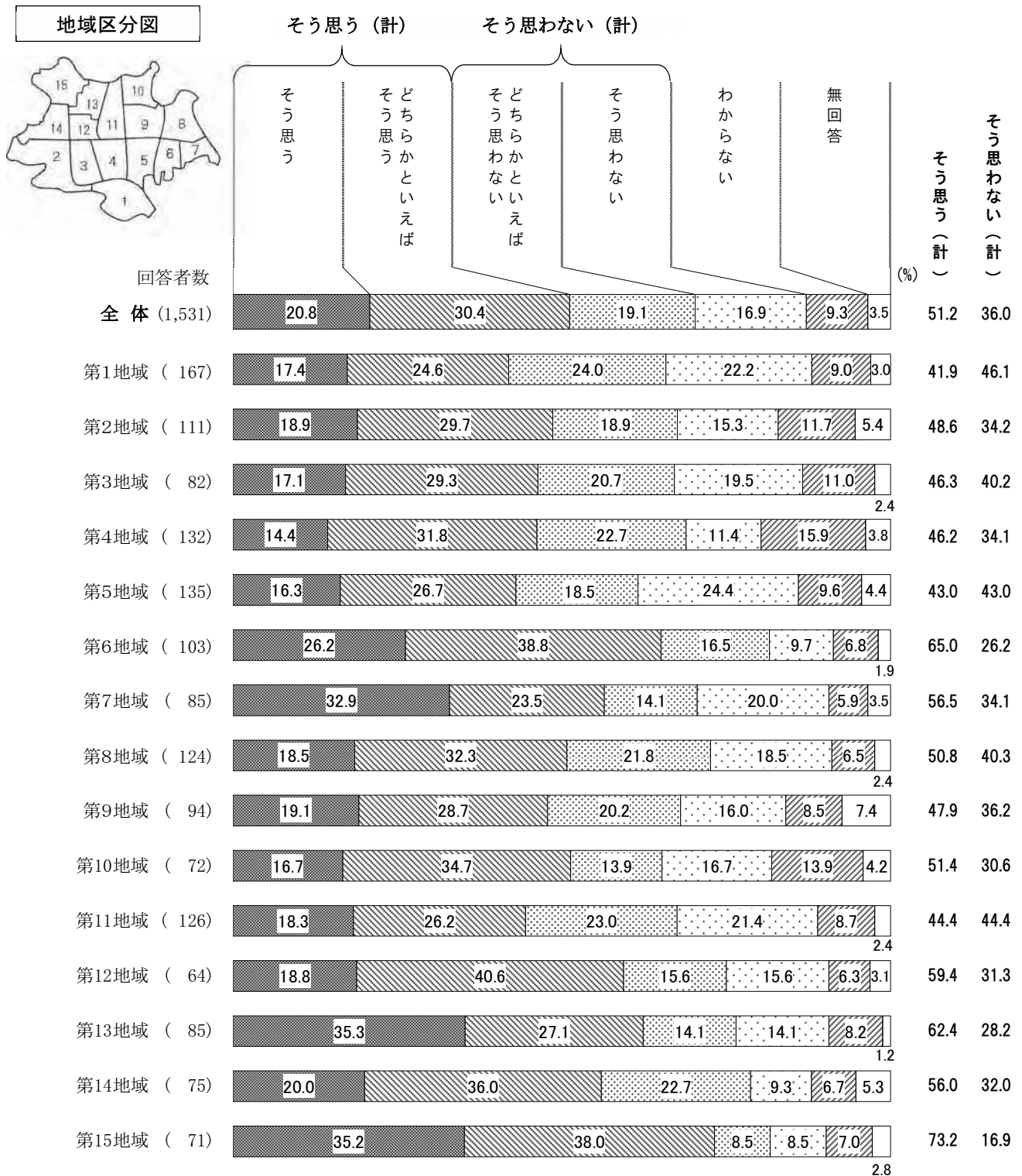
図1-1-2-⑨ 地域別／居住地域の評価／通勤や通学などの交通の便が良い



サ クロス集計・地域別／居住地域の評価／よく行く、または行きたい公園がある

〈よく行く、または行きたい公園がある〉について、【そう思う】は第15地域で73.2%と最も高く、次いで第6地域で65.0%となっている。一方、【そう思わない】は第1地域で46.1%と最も高く、次いで第11地域で44.4%となっている。

図1-1-2-⑩ 地域別／居住地域の評価／よく行く、または行きたい公園がある



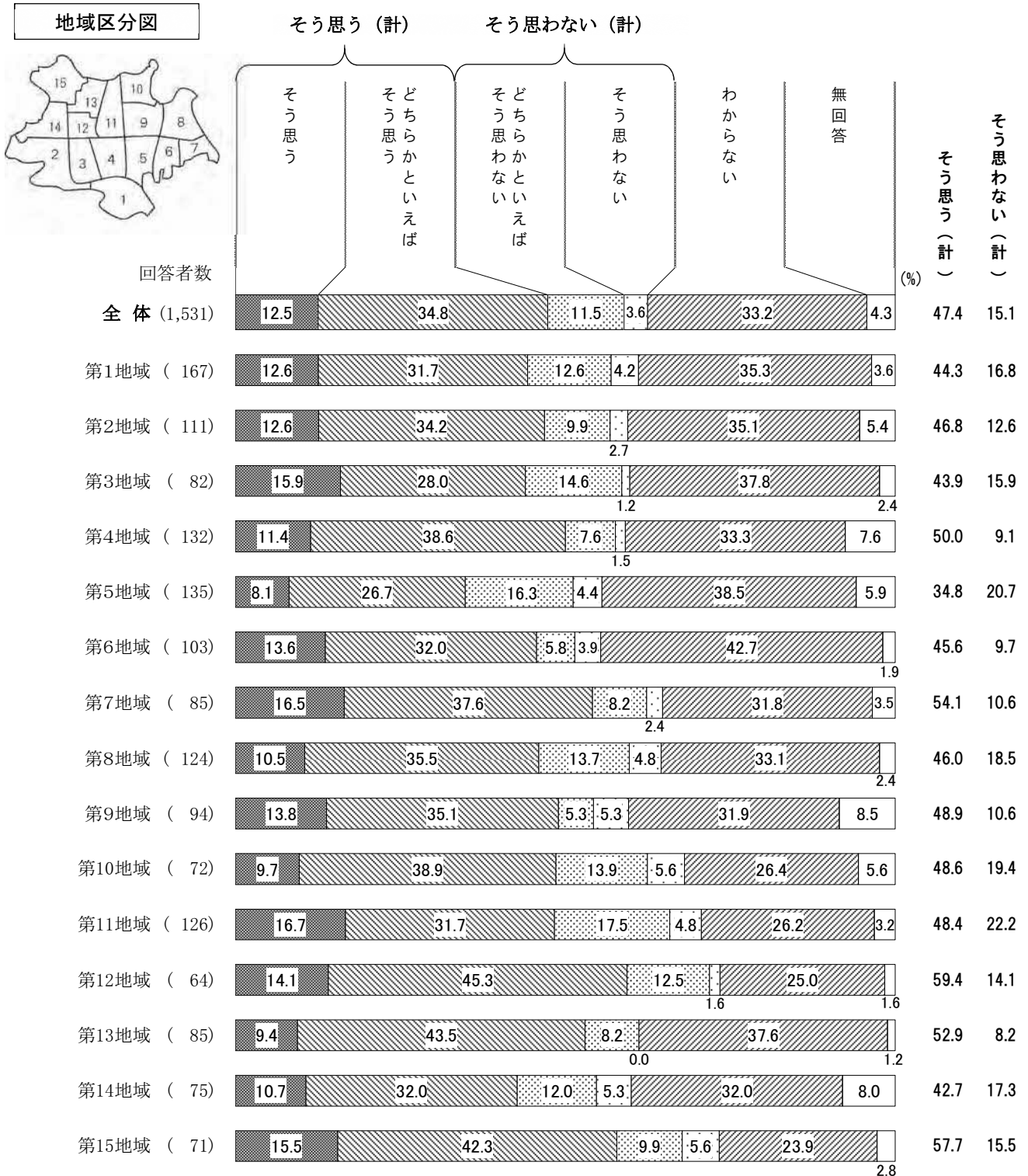
シ クロス集計・地域別／居住地域の評価／

子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている

〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉について、【そう思う】は第12地域で59.4%と最も高く、次いで第15地域が57.7%となっている。一方、【そう思わない】は第11地域で22.2%と最も高く、次いで第5地域で20.7%となっている。

図1-1-2-⑪ 地域別／居住地域の評価

／子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている



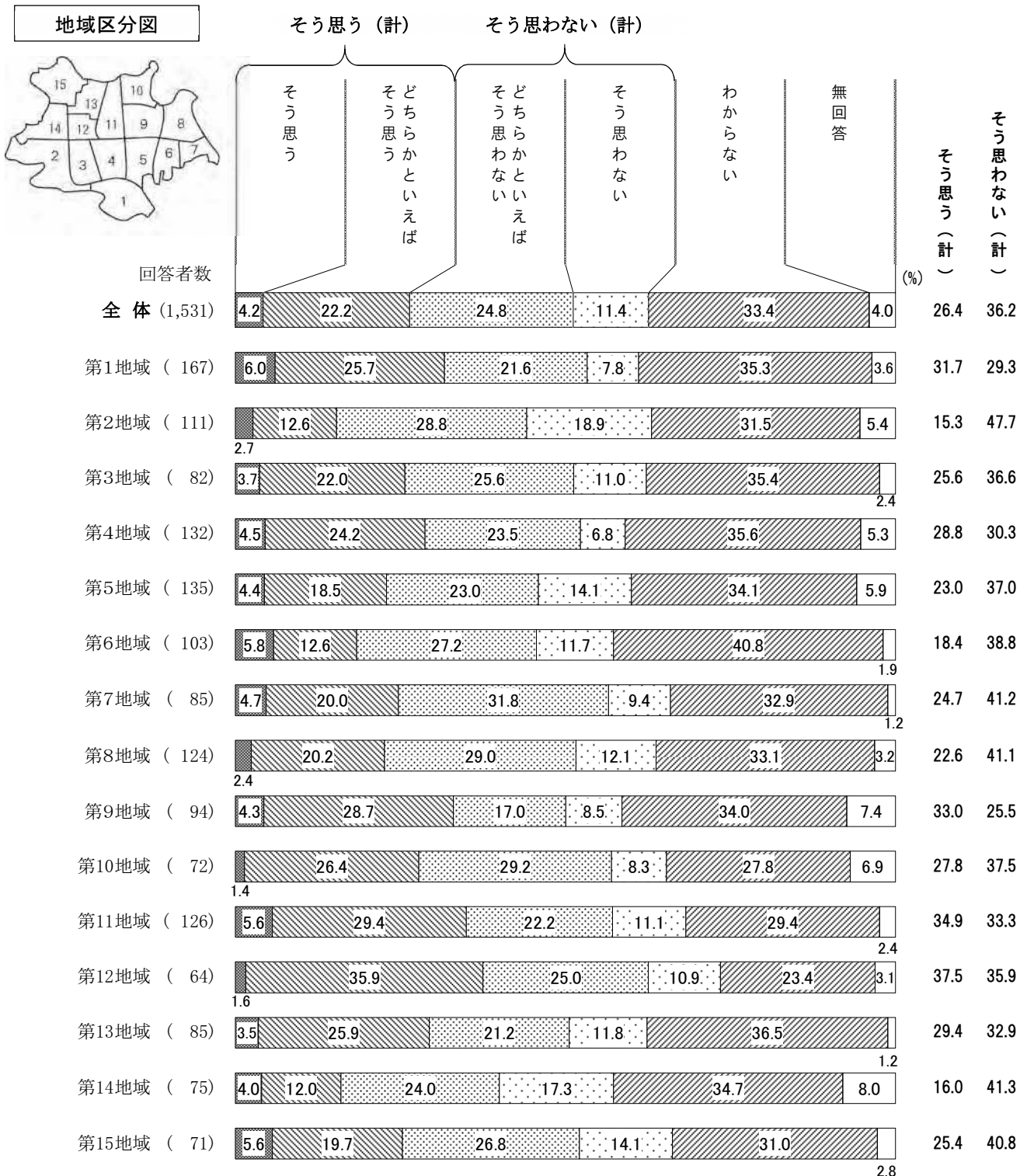
ス クロス集計・地域別／居住地域の評価／

子どもたちが文化芸術を楽しめるまちである

〈子どもたちが文化芸術を楽しめるまちである〉について、【**そう思う**】は第12地域で37.5%と最も高く、次いで第11地域で34.9%となっている。一方、【**そう思わない**】は第2地域で47.7%と最も高く、次いで第14地域が41.3%、僅差で第7地域が41.2%、第8地域が41.1%と続いている。

図1-1-2-⑫ 地域別／居住地域の評価

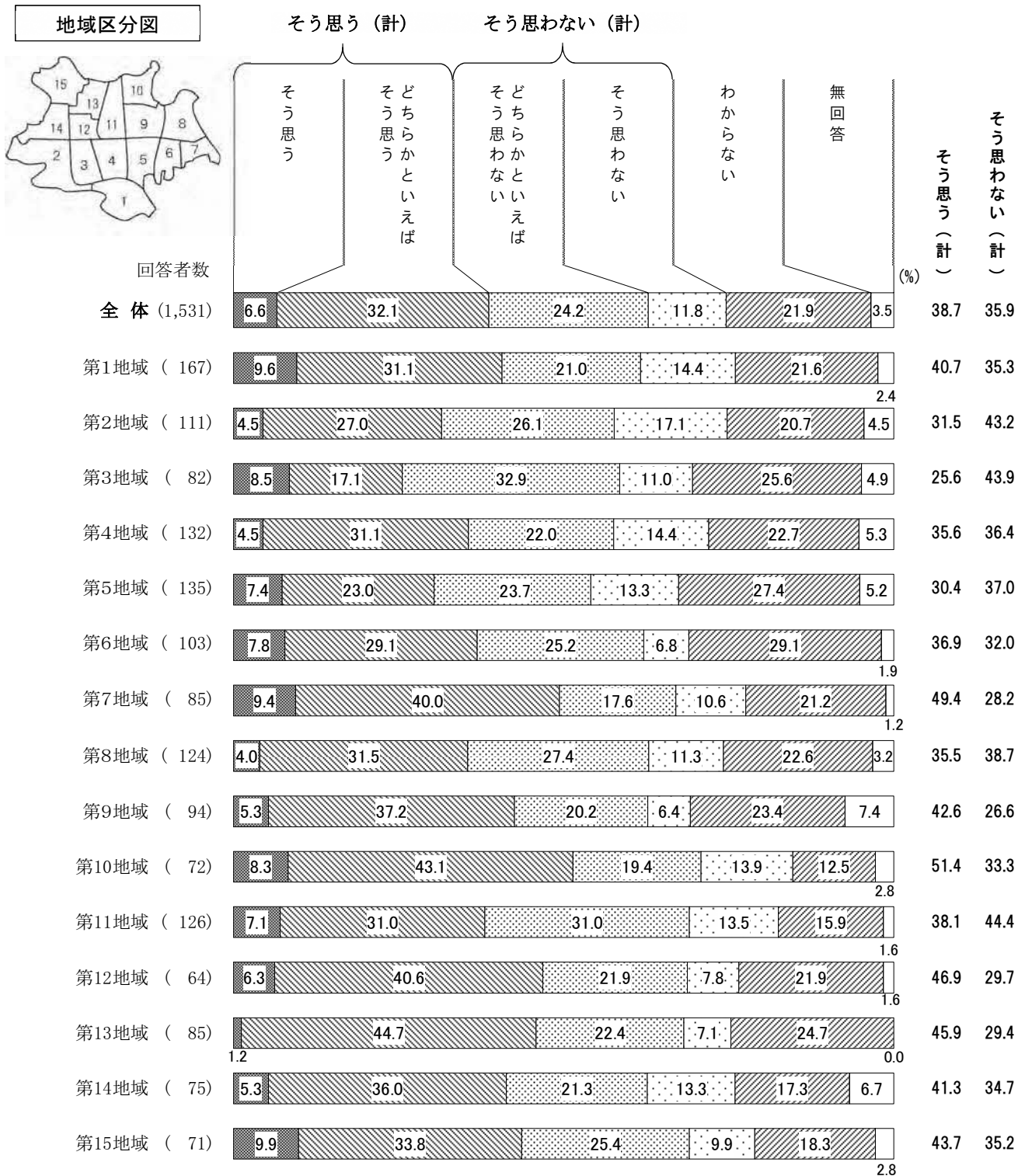
／子どもたちが文化芸術を楽しめるまちである



セ クロス集計・地域別／居住地域の評価／地域の施設（建物や道路など）は、
高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている

〈地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉について、【そう思う】は第10地域で51.4%と最も高く、次いで第7地域で49.4%となっている。一方、【そう思わない】は第11地域で44.4%と最も高く、次いで第3地域で43.9%となっている。

図1-1-2-⑬ 地域別／居住地域の評価／地域の施設（建物や道路など）は、
高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている



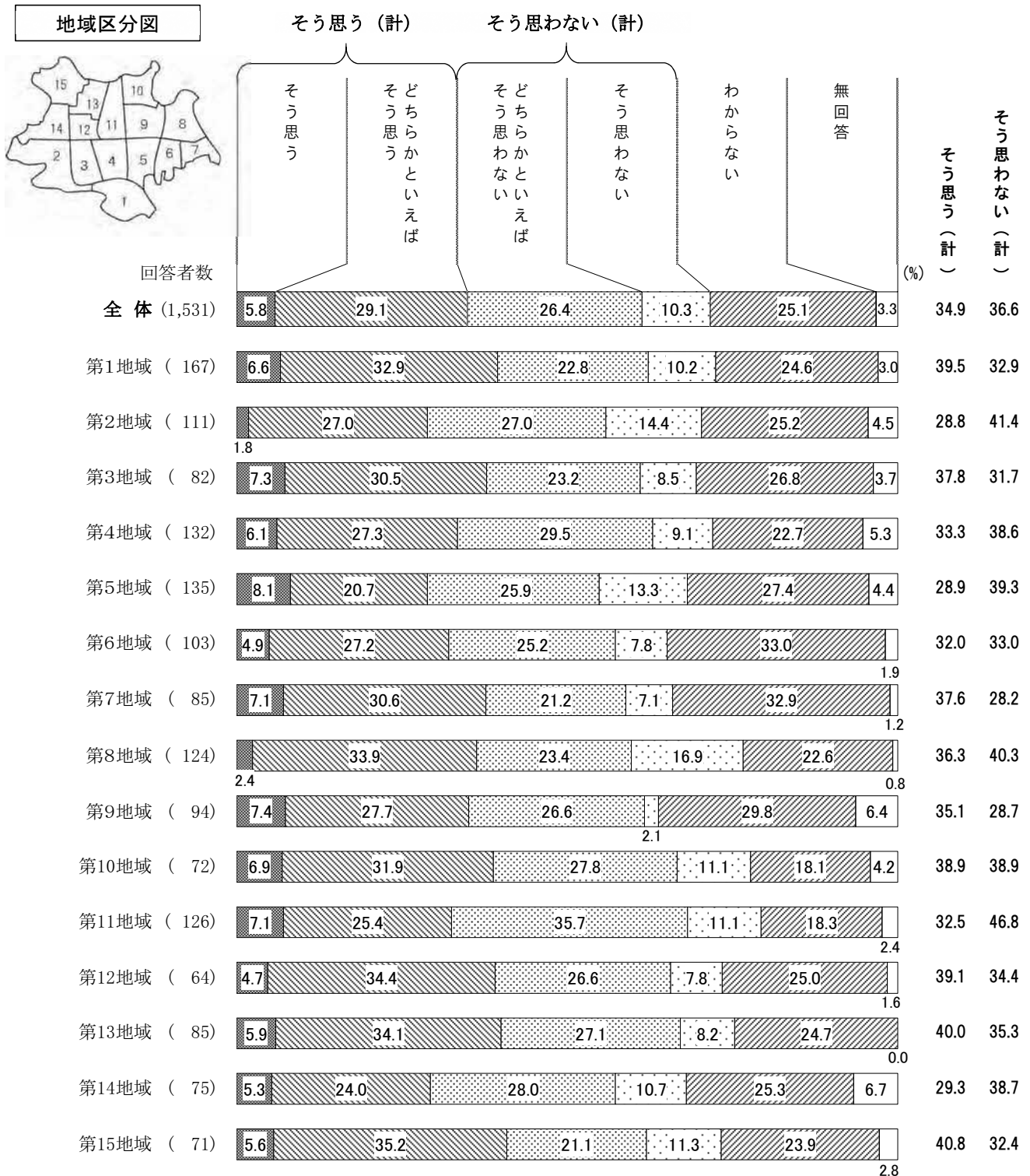
ソ クロス集計・地域別／居住地域の評価／

地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している

〈地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している〉について、【**そう思う**】は第15地域で40.8%と最も高く、次いで第13地域が40.0%となっている。一方、【**そう思わない**】は第11地域で46.8%と最も高く、次いで第2地域で41.4%となっている。

図1-1-2-⑭ 地域別／居住地域の評価

／地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している

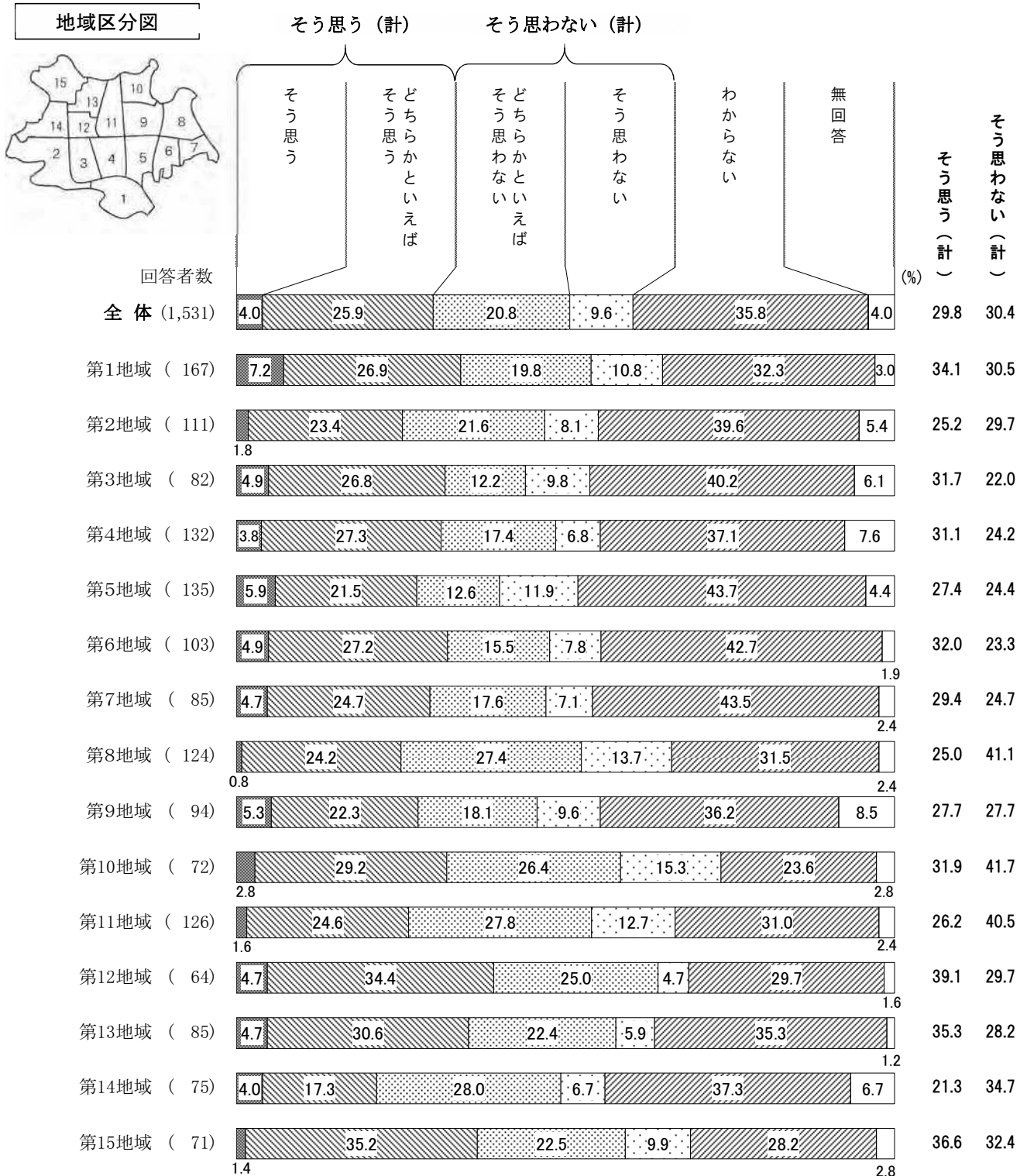


タ クロス集計・地域別／居住地域の評価／

男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている
 〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉について、【**そう思う**】は第12地域で39.1%と最も高く、次いで第15地域が36.6%となっている。一方、【**そう思わない**】は第10地域で41.7%と最も高く、次いで第8地域で41.1%となっている。

図1-1-2-⑮ 地域別／居住地域の評価

／男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている



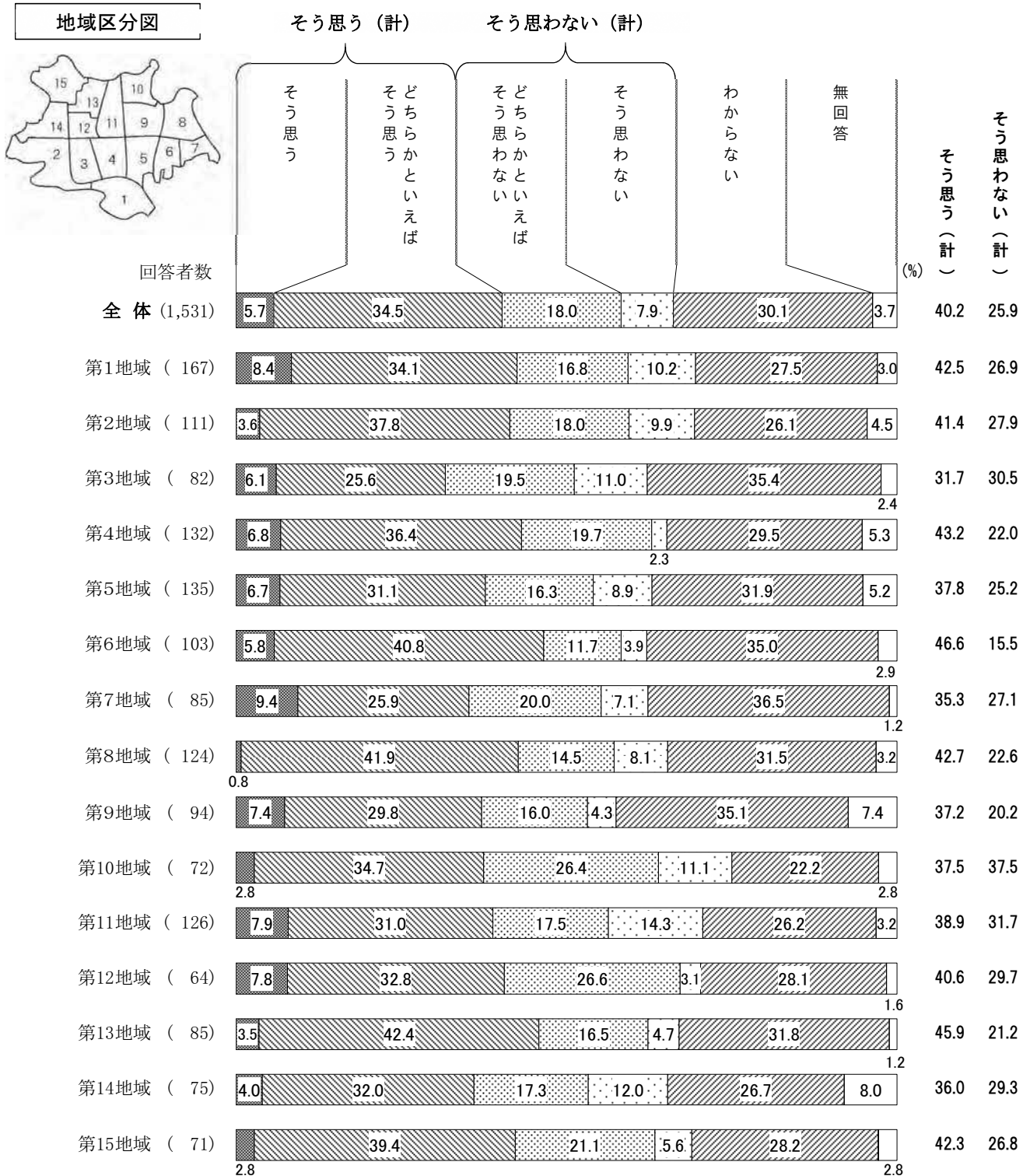
チ クロス集計・地域別／居住地域の評価／

国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである

〈国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである〉について、【そう思う】は第6地域で46.6%と最も高く、次いで第13地域が45.9%となっている。一方、【そう思わない】は第10地域で37.5%と最も高く、次いで第11地域が31.7%となっている。

図1-1-2-⑯ 地域別／居住地域の評価

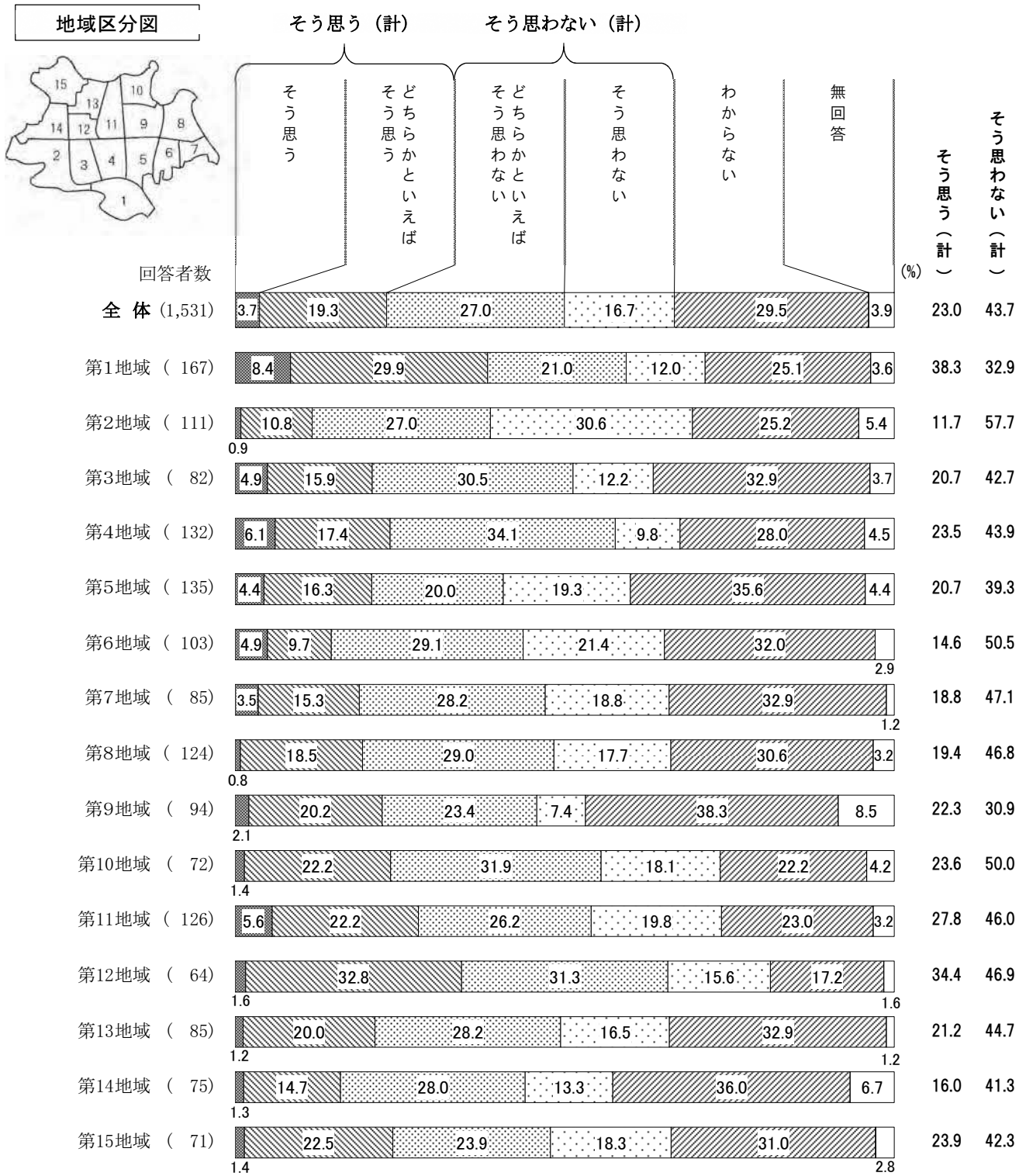
／国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである



ツ クロス集計・地域別／居住地域の評価／文化芸術に親しめるまちである

〈文化芸術に親しめるまちである〉について、【そう思う】は第1地域で38.3%と最も高く、次いで第12地域が34.4%となっている。一方、【そう思わない】は第2地域で57.7%と最も高く、次いで第6地域が50.5%となっている。

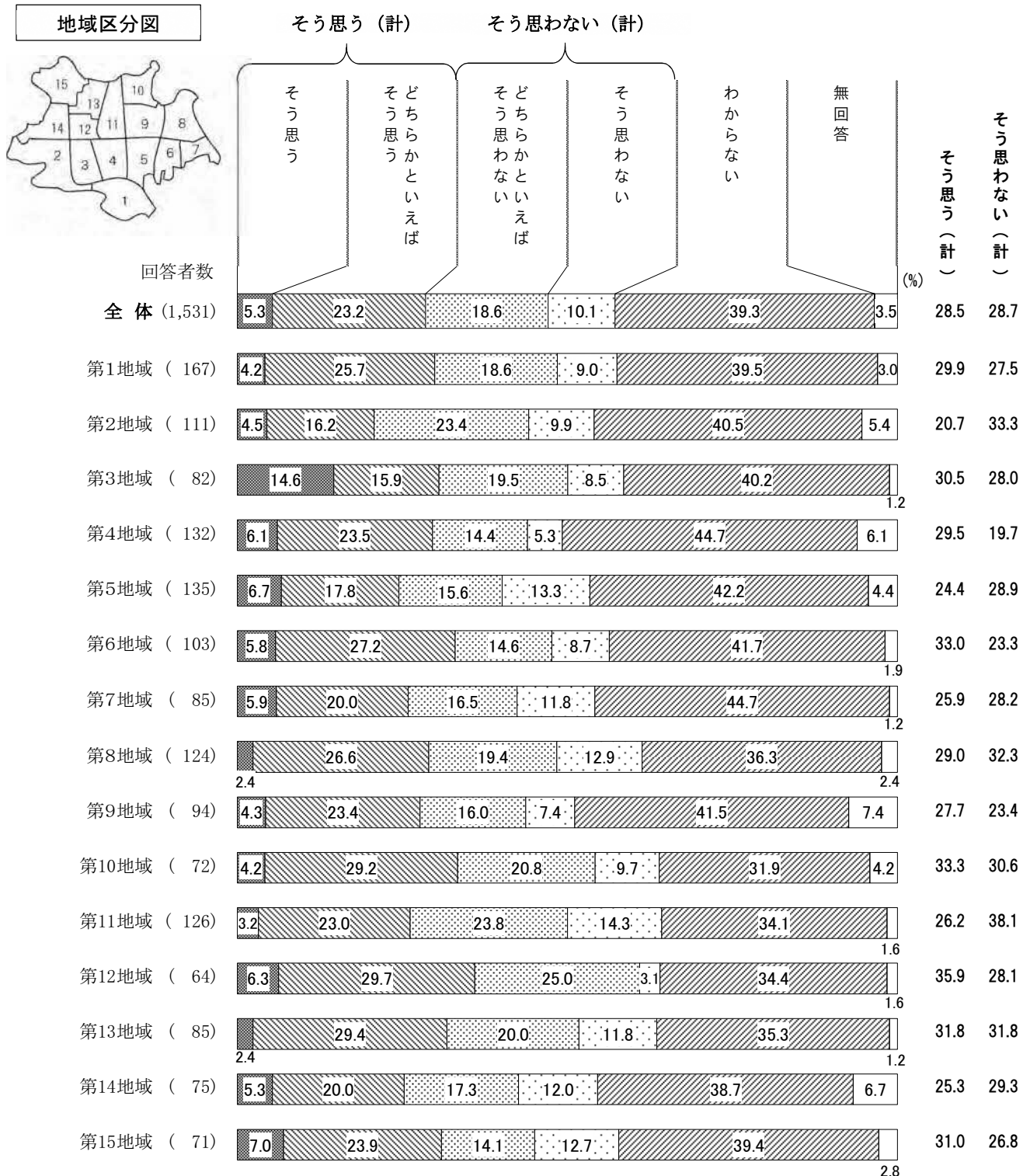
図1-1-2-⑰ 地域別／居住地域の評価／文化芸術に親しめるまちである



テ クロス集計・地域別／居住地域の評価／人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」
「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない

〈人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない〉について、【そう思う】は第12地域で35.9%と最も高く、次いで第10地域が33.3%となっている。一方、【そう思わない】は第11地域で38.1%と最も高く、次いで第2地域が33.3%となっている。

図1-1-2-⑱ 地域別／居住地域の評価／人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない



(2) 地域の暮らしやすさ

問2 問1を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じていますか（○は1つだけ）。

■【暮らしやすい】は前年から微減したものの、【暮らしにくい】は1割超で過去最低

ア 単純集計・経年比較／地域の暮らしやすさ

- (ア) 地域の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」は29.0%で、「どちらかといえば暮らしやすい」(55.3%)を合わせた【暮らしやすい】は8割台半ばを占めている。
- (イ) 「暮らしにくい」は1.4%で、「どちらかといえば暮らしにくい」(10.8%)を合わせた【暮らしにくい】は1割超となっている。
- (ウ) 【暮らしやすい】を経年で見ると、平成27年調査以降はおおむね増加傾向を続け、前回の令和3年調査(85.2%)で平成22年調査に次ぐ高い割合となったものの、今回の調査では微減となった。
- (エ) 【暮らしにくい】を経年で見ると、前回の令和3年調査に比べて1.1ポイント減少し、平成13年の調査開始以降で最も低い割合となった。

図1-2-1-① 経年比較／地域の暮らしやすさ

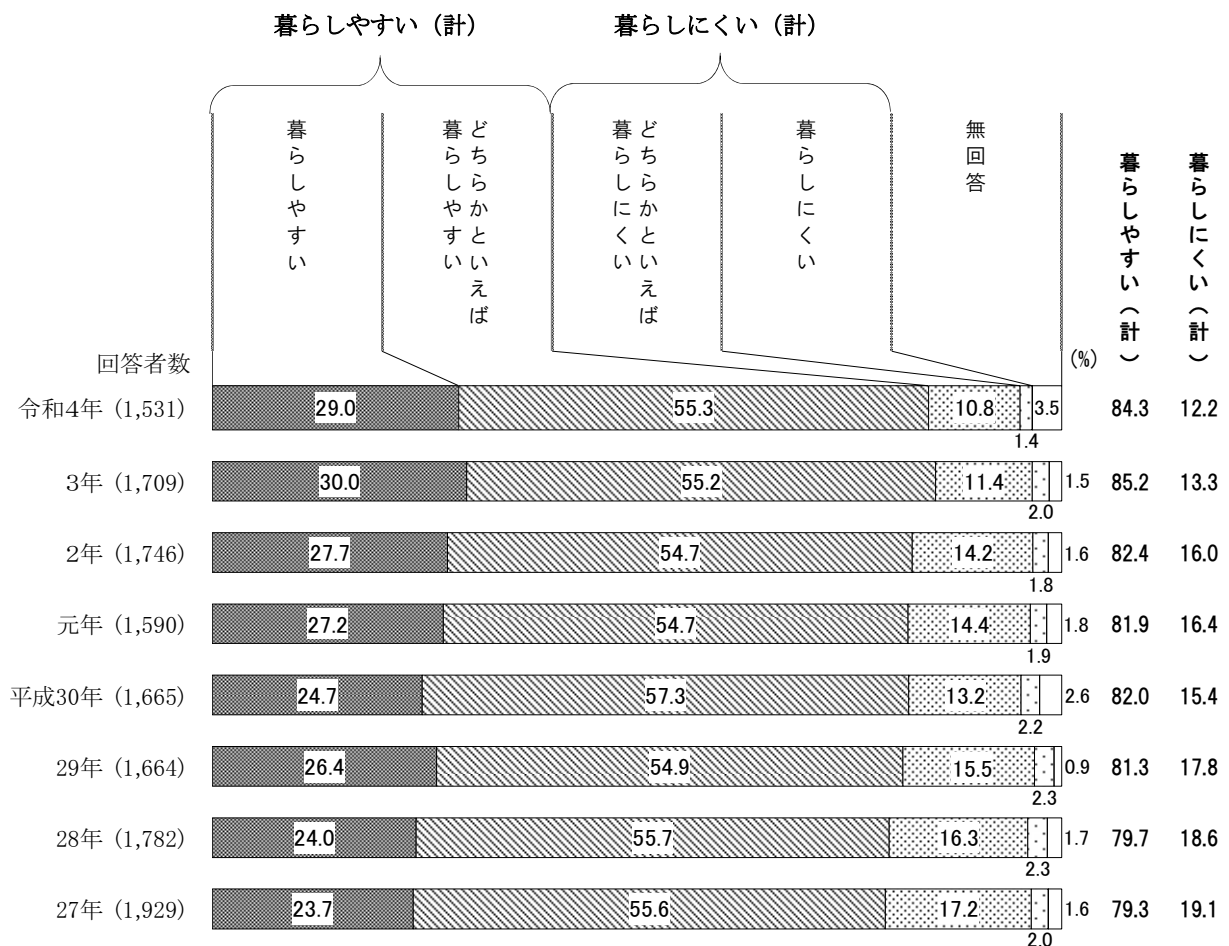
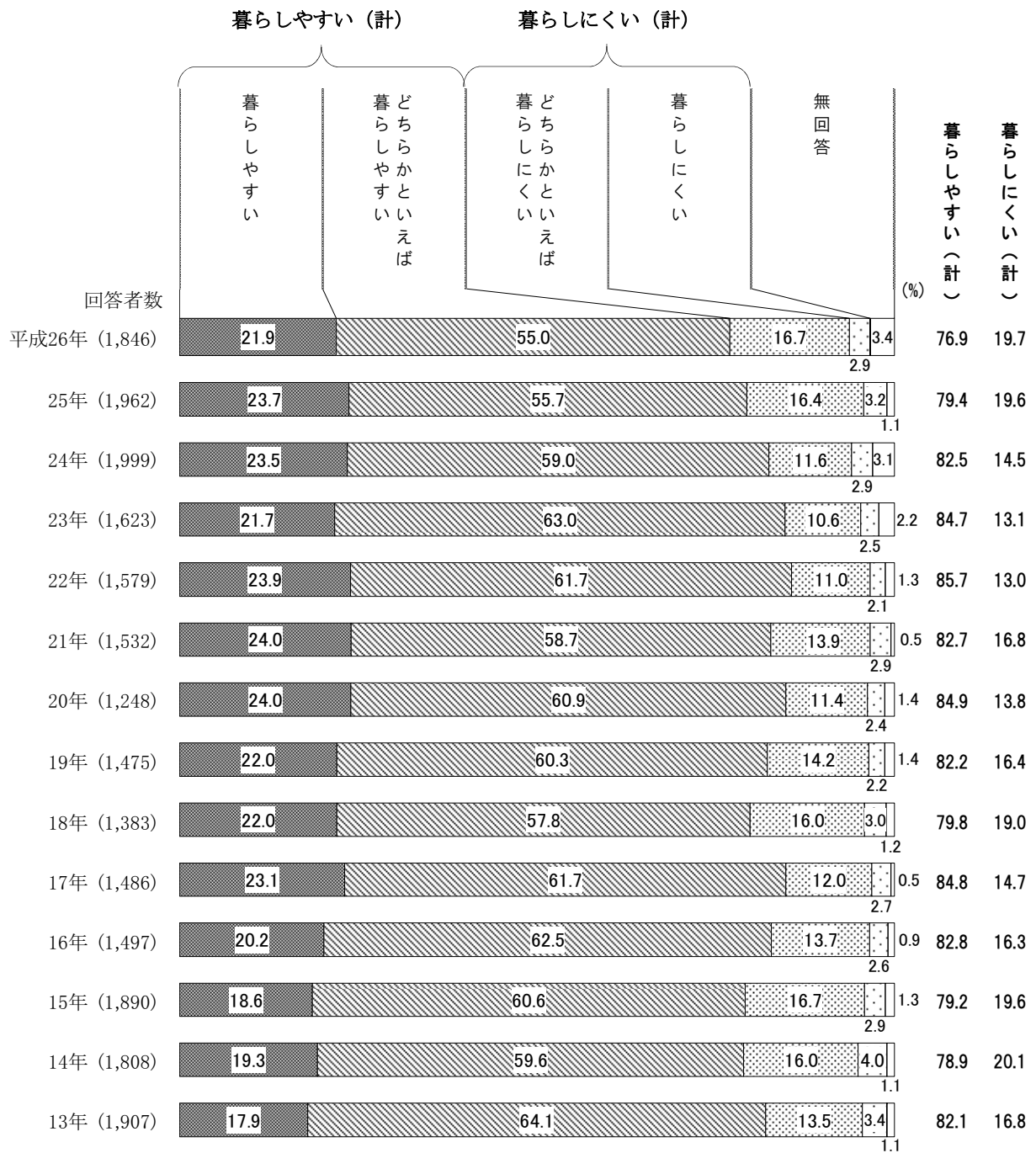


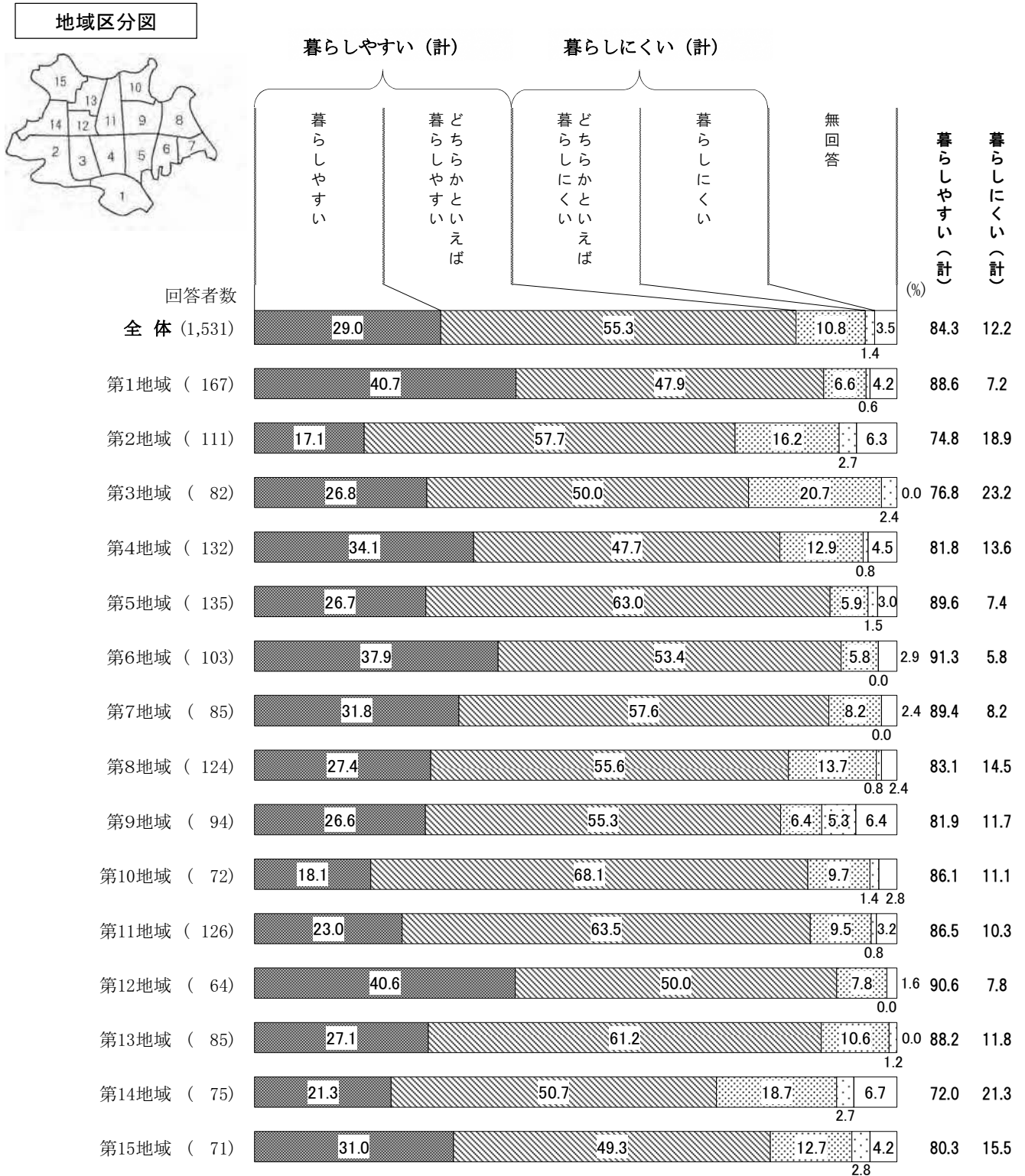
図1-2-1-② 経年比較/地域の暮らしやすさ



イ クロス集計・地域別／地域の暮らしやすさ

地域別でみると、【暮らしやすい】は第6地域で91.3%と最も高く、次いで第12地域が90.6%で続いている。一方、【暮らしにくい】は第3地域が23.2%で最も高く、次いで第14地域が21.3%で続いている。

図1-2-2 地域別／地域の暮らしやすさ

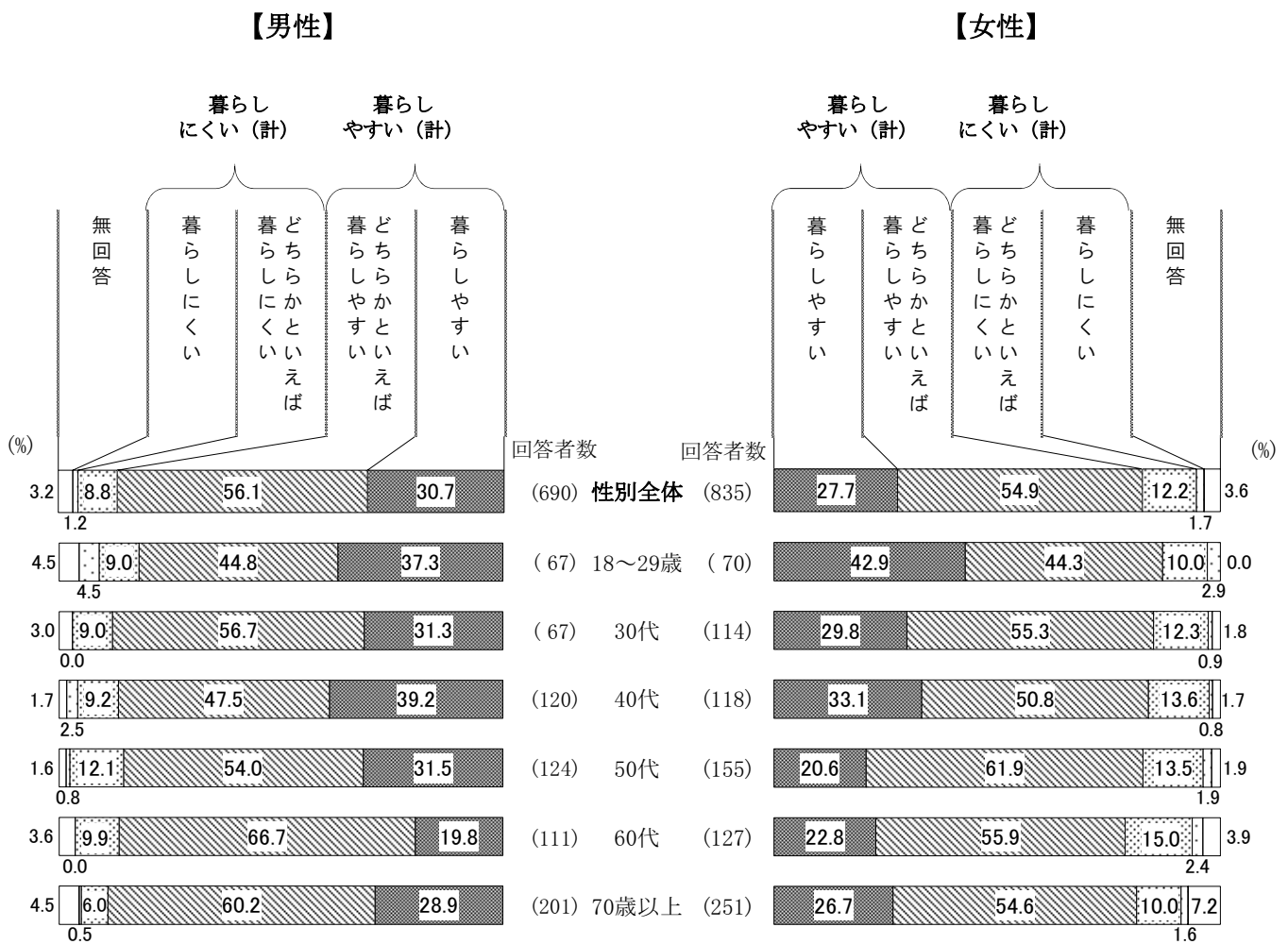


ウ クロス集計・性別、性別・年代別／地域の暮らしやすさ

(ア) 性別でみると【暮らしやすい】は、男性（86.8%）の方が女性（82.5%）より4.3ポイント高くなっている。

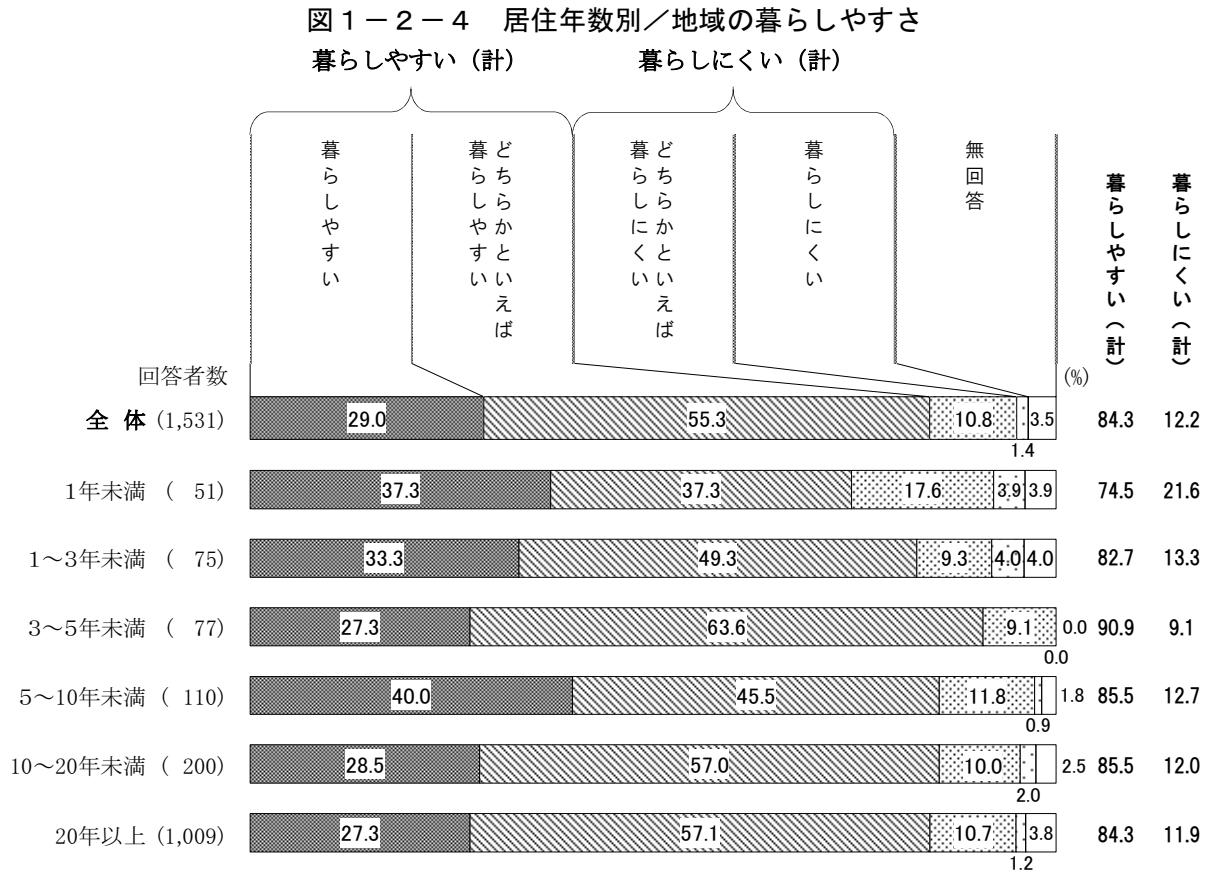
(イ) 性・年代別でみると、男性では、【暮らしやすい】は18～29歳を除いた30代以上の年齢層で8割台後半と高く、70歳以上で89.1%と最も高くなっている。女性では、【暮らしやすい】は18～29歳で87.1%と最も高くなっている。一方、【暮らしにくい】は女性の60代が17.3%で最も高く、男性の70歳以上で6.5%と最も低くなっている。

図1-2-3 性別、性・年代別／地域の暮らしやすさ



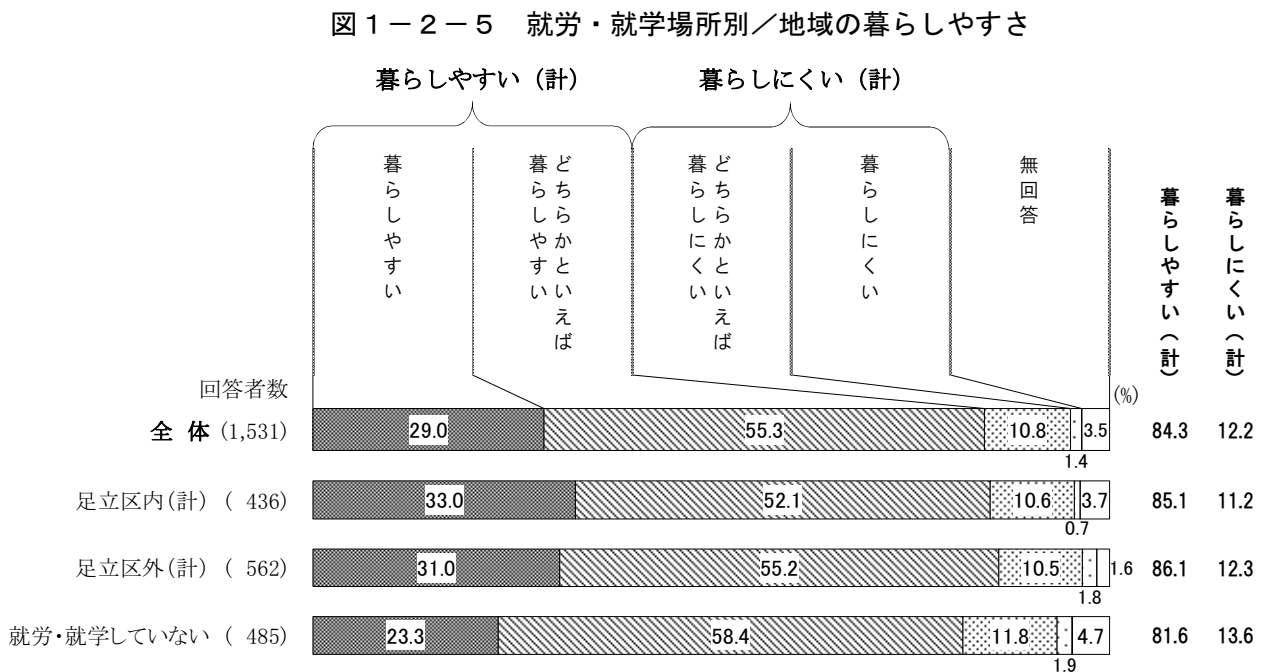
エ クロス集計・居住年数別／地域の暮らしやすさ

居住年数別でみると、【暮らしやすい】は「3～5年未満」で90.9%と最も高く、【暮らしにくい】は「1年未満」で21.6%と最も高くなっている。



オ クロス集計・就労・就学場所別／地域の暮らしやすさ

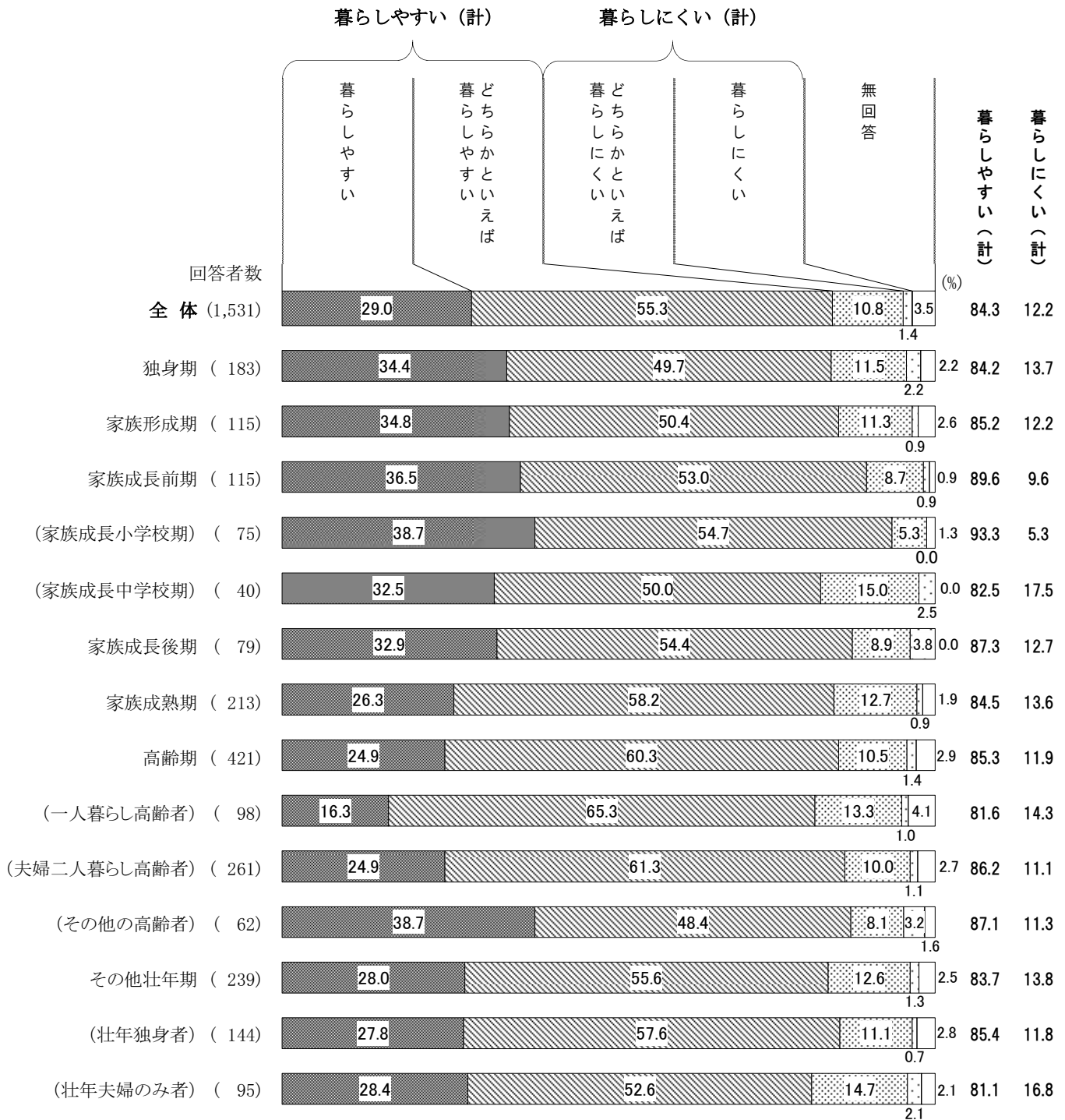
就労・就学場所別でみると、【暮らしやすい】は「足立区内 (計)」と「足立区外 (計)」では8割台半ばで違いはないが、「就労・就学していない」で81.6%と低くなっている。



カ クロス集計・ライフステージ別／地域の暮らしやすさ

ライフステージ別で見ると、【暮らしやすい】は〈家族成長前期〉で89.6%と最も高く、次いで〈家族成長後期〉(87.3%)となっており、【暮らしにくい】は〈その他壮年期〉で13.8%と最も高くなっている。詳細区分で見ると【暮らしやすい】は〈(家族成長小学校期)〉で93.3%と最も高く、【暮らしにくい】は〈(家族成長中学校期)〉で17.5%と最も高くなっている。

図1-2-6 ライフステージ別／地域の暮らしやすさ



（3）特に暮らしにくいと感じること

問2で「3 どちらかといえば暮らしにくい」、または「4 暮らしにくい」とお答えの方に
問2-1 特に暮らしにくいと感じることは何ですか（〇は3つまで）。

■ “マナーやルールへの意識の低さ” が4割台半ばを超えて3年連続で最も高い

ア 単純集計・経年比較／特に暮らしにくいと感じること

（ア）【暮らしにくい】という人に、その理由を聞いたところ、高い順に以下のとおりとなっている。

- ① 「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」（47.6%）
- ② 「交通の便が悪いこと」（41.2%）
- ③ 「買い物がしにくいこと」（33.2%）
- ④ 「治安が良くないこと」（26.2%）

（イ）前回調査に比べて増加している項目は、主に以下のとおりとなっている。

- ① 「公共施設や介護・医療施設が不十分なこと」（+10.1ポイント）
- ② 「自然が少ないこと」（+5.2ポイント）

（ウ）前回調査に比べて減少している項目は、主に以下のとおりとなっている。

- ① 「家の広さなどの居住環境が悪いこと」（-6.0ポイント）
- ② 「子育て環境が悪いこと」（-3.4ポイント）

図1-3-1-① 経年比較／特に暮らしにくいと感じること

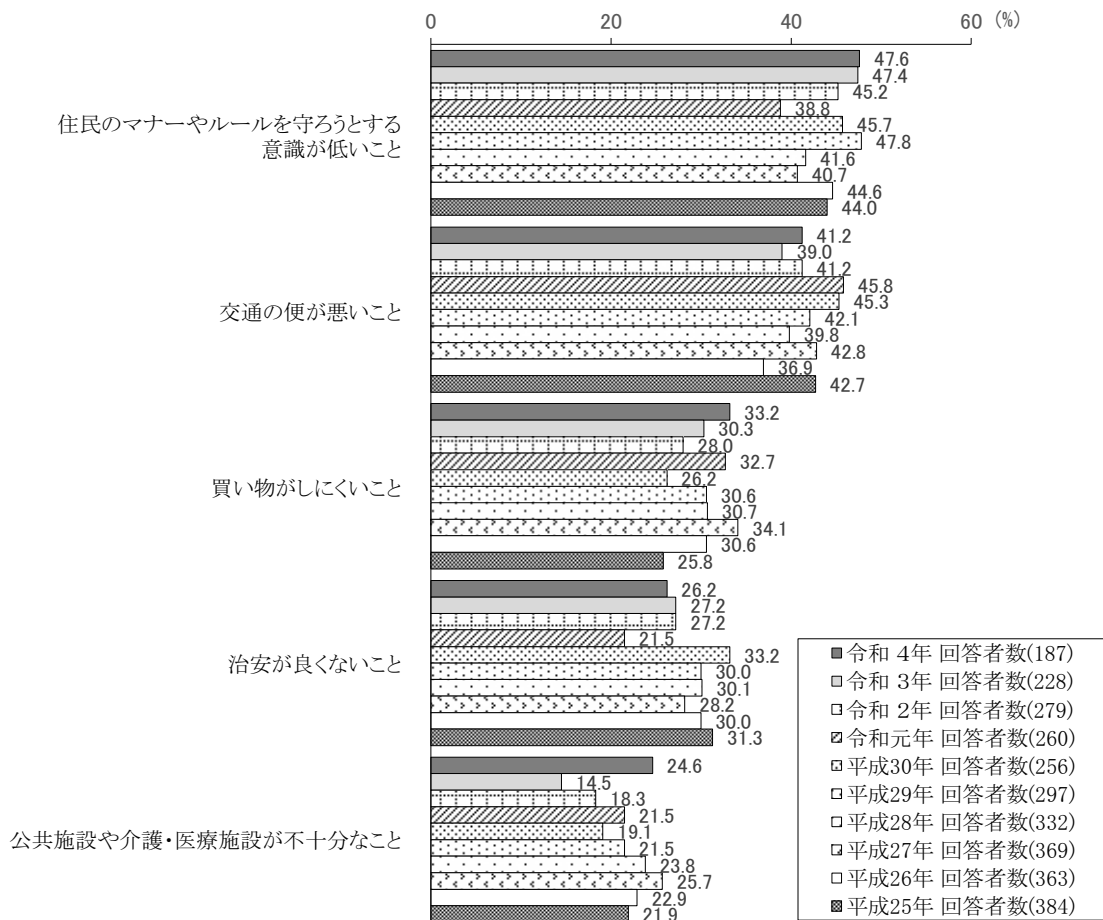
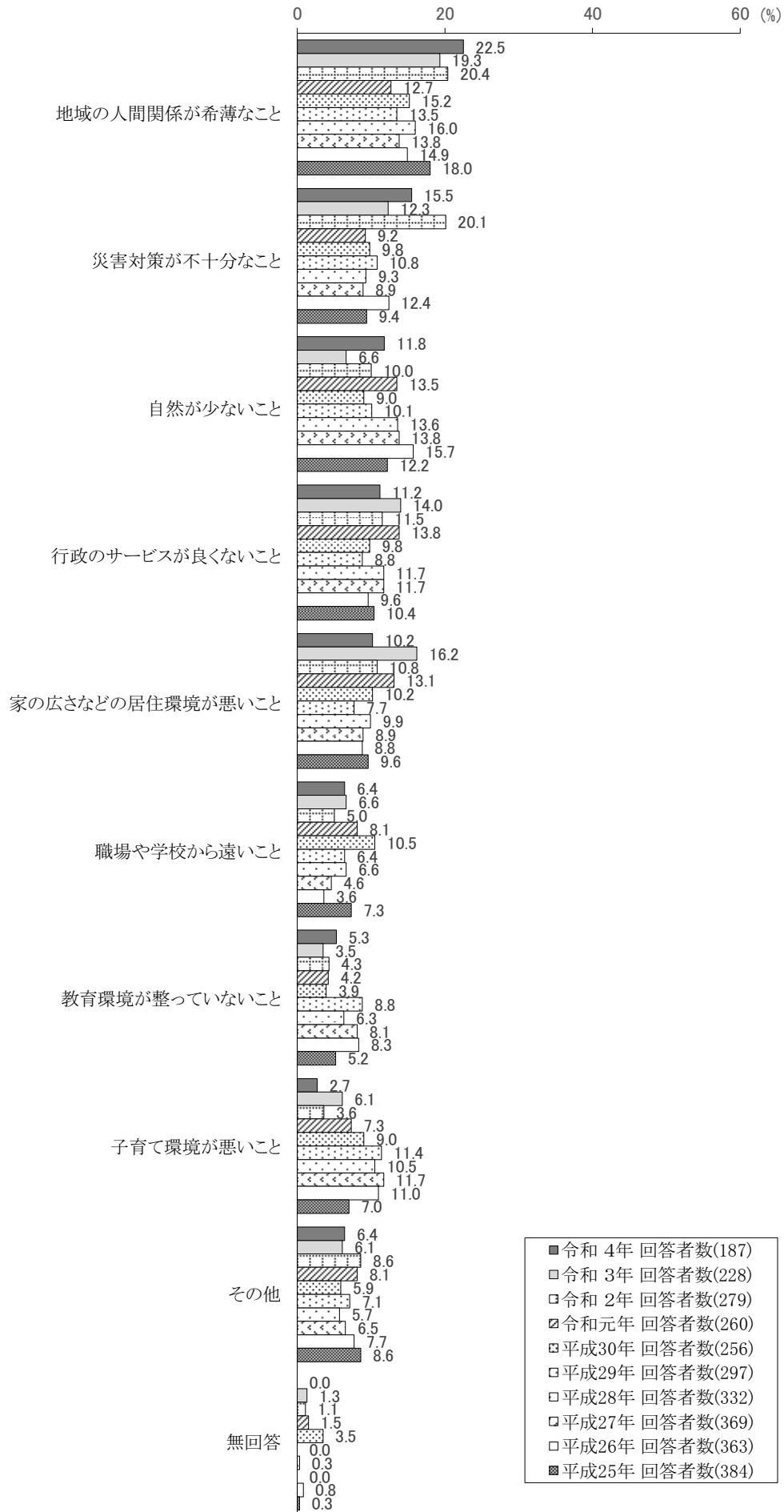


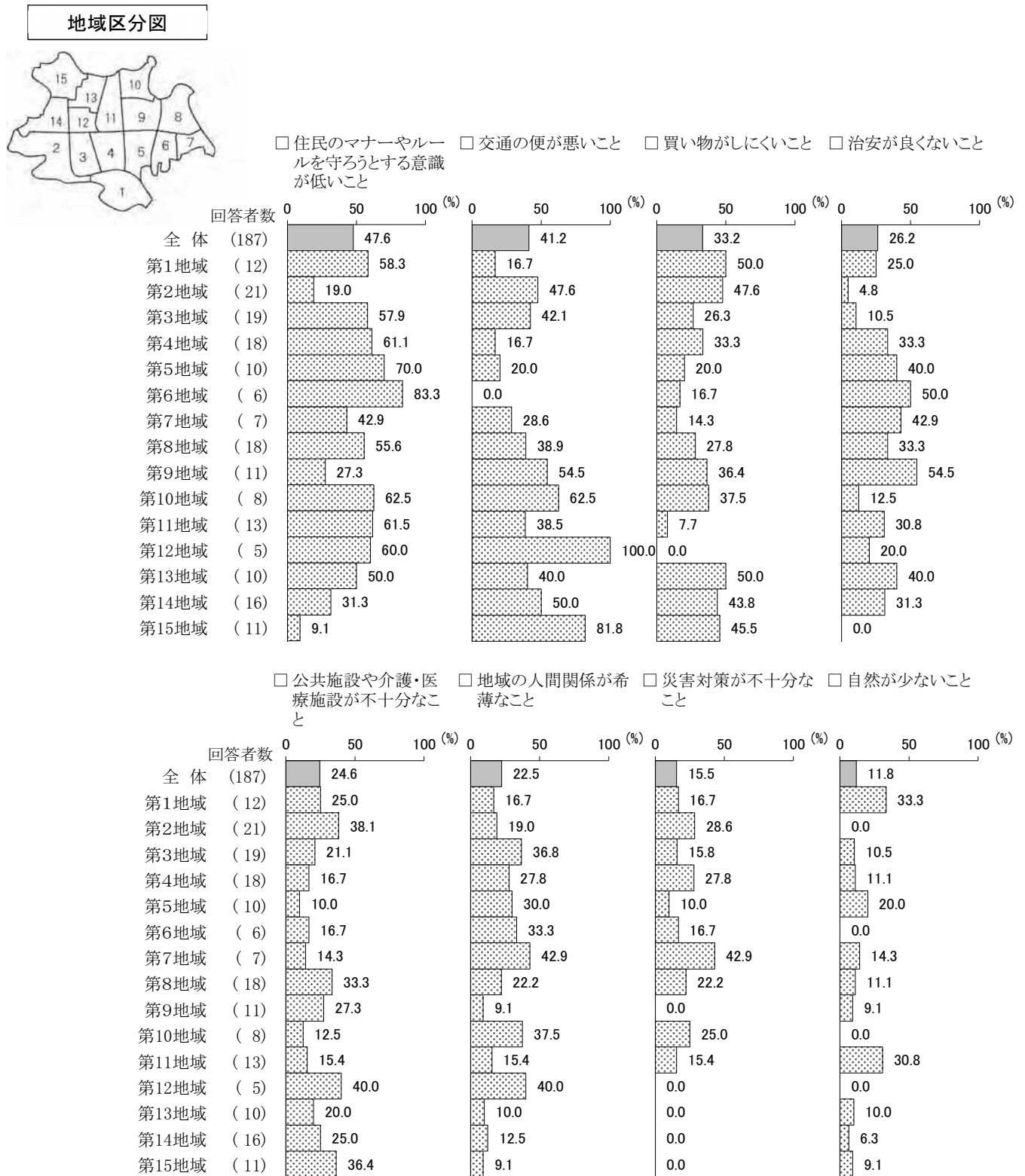
図1-3-1-② 経年比較／特に暮らしにくいと感じること



イ クロス集計・地域別／特に暮らしにくいと感じること（上位8項目）

地域別でみると、すべての地域の回答者数が30未満となっていることから参考値にとどめる必要があるが、回答者数が10以上の地域に限ってしてみると、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」は第5地域（70.0%）、「交通の便が悪いこと」は第15地域（81.8%）、「買い物がしにくいこと」は第1地域と第13地域（各50.0%）で他の地域に比べて高くなっている。

図1-3-2 地域別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目



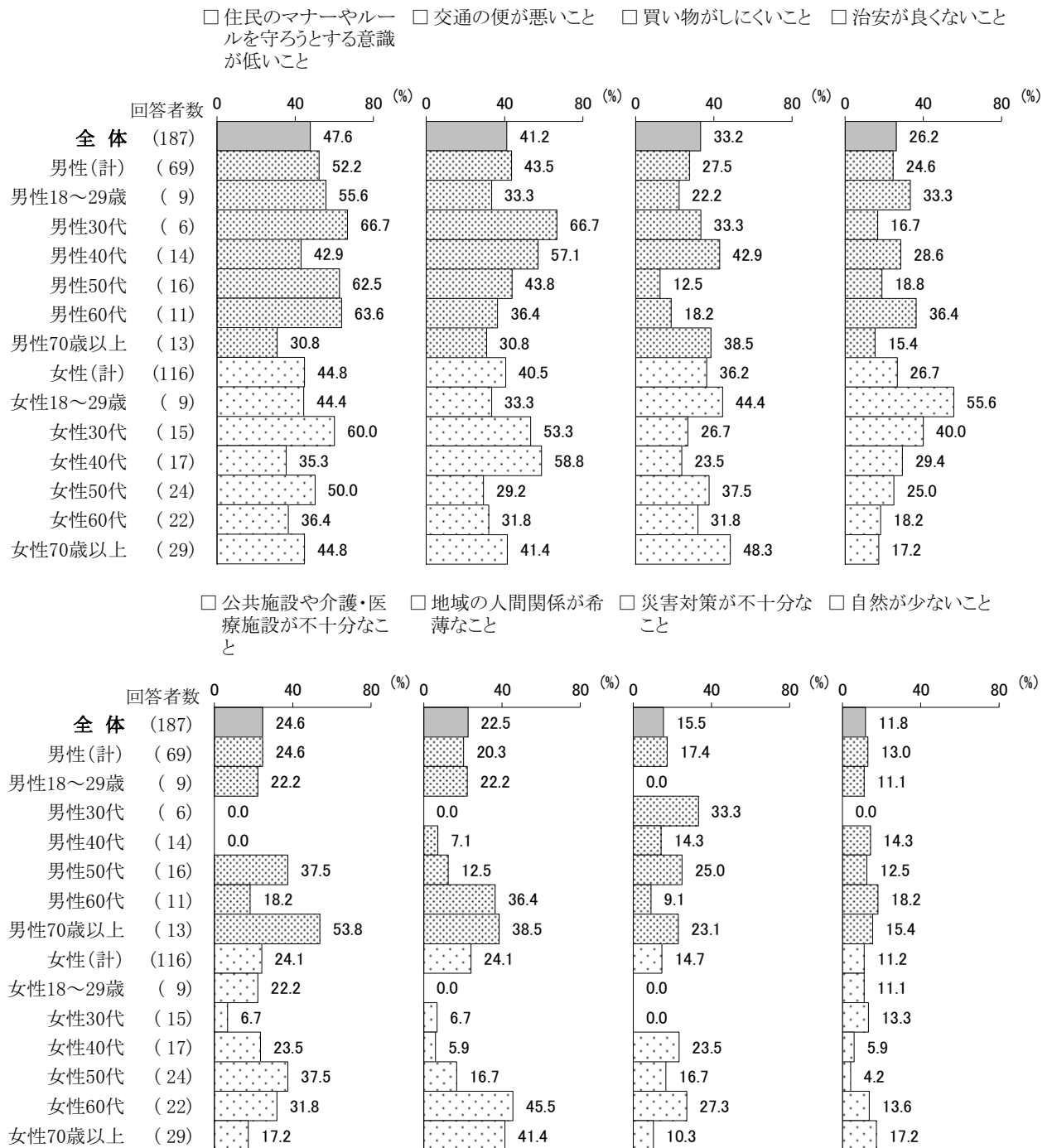
ウ クロス集計・性別、性・年代別／特に暮らしにくいと感じること（上位8項目）

（ア）男性の方が女性より高くなっている項目は、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」（+7.4ポイント）、「交通の便が悪いこと」（+3.0ポイント）などとなっている。

（イ）女性の方が男性より高くなっている項目は、「買い物がしにくいこと」（+8.7ポイント）、「地域の人間関係が希薄なこと」（+3.8ポイント）などとなっている。

（ウ）性・年代別で見ると、すべての性・年代層の回答者数が30未満となっていることから参考値にとどめる必要があるが、回答者数が10以上の性・年代層に限ってしてみると、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」は男性の50～60代と女性の30代で6割台と高く、「交通の便が悪いこと」は男性の40代と女性の30～40代で5割台と高くなっている。

図1-3-3 性別、性・年齢別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目



(4) 定住意向

問3 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（○は1つだけ）。

■【定住意向】は、前回調査同様8割台を維持しおおむね漸増傾向を続け、最高値を更新

ア 単純集計・経年比較／定住意向

足立区への定住意向をみると、「ずっと住み続けたい」は35.1%で、「当分は住み続けたい」（45.2%）を合わせた【定住意向】は8割を占めている。一方、「区外に転出したい」は1割未満となっている。

経年でみると、【定住意向】は前回調査同様に8割台を維持し、最高値を更新した。

図1-4-1-① 経年比較／定住意向

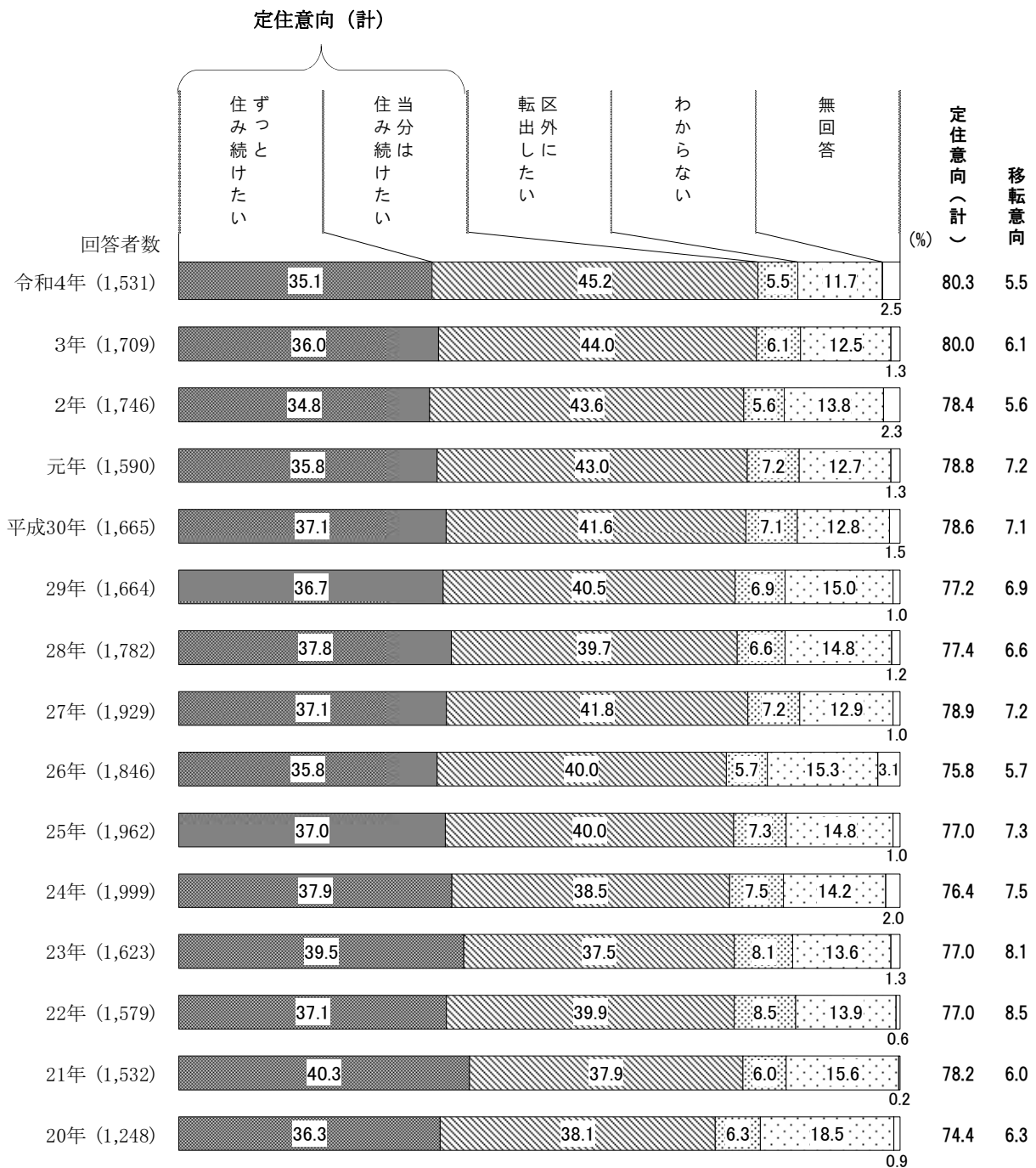
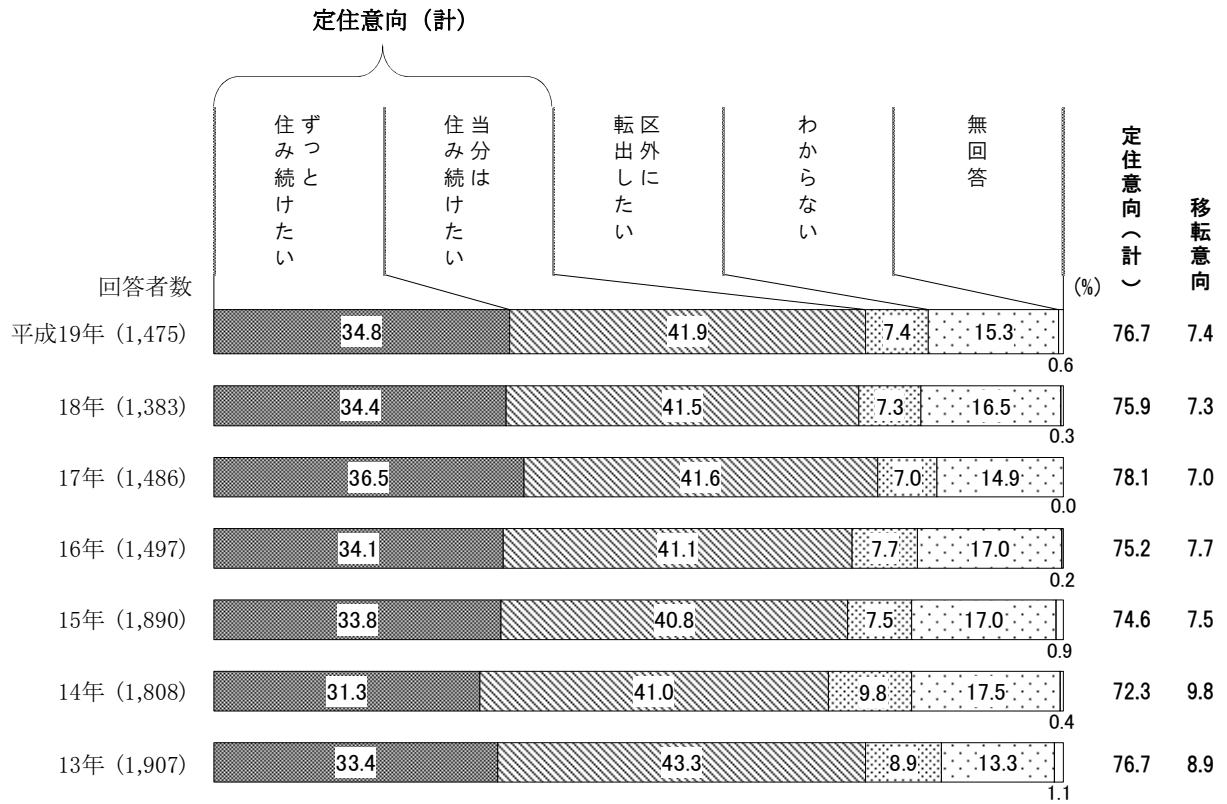


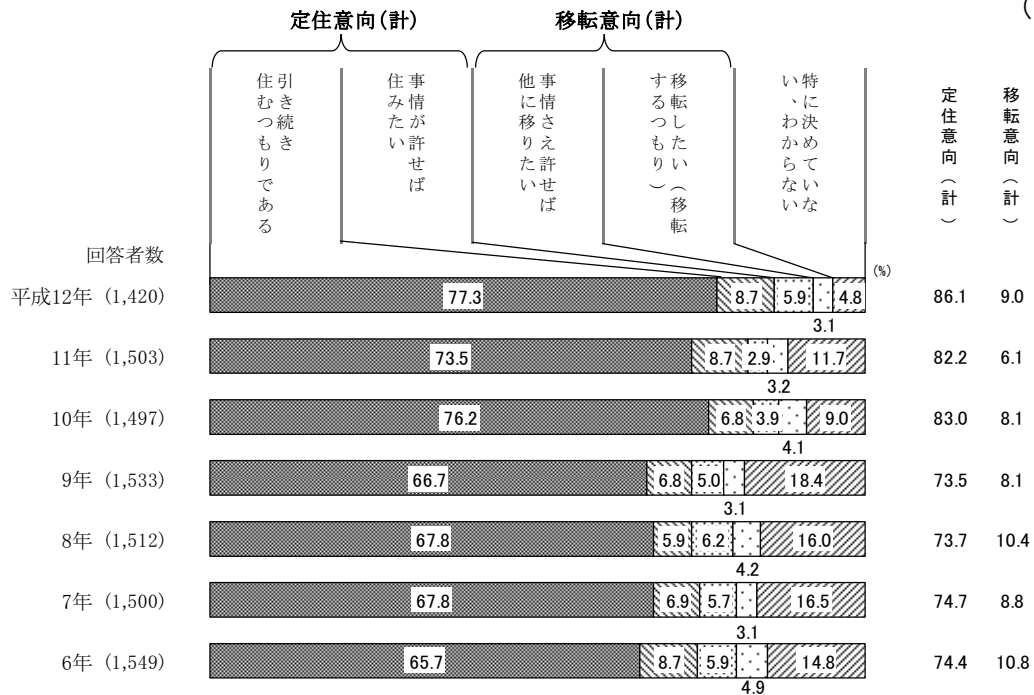
図1-4-1-② 経年比較／定住意向



参考／定住・移転意向の推移

問 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。この中から1つにお答えください。

（○は1つ）

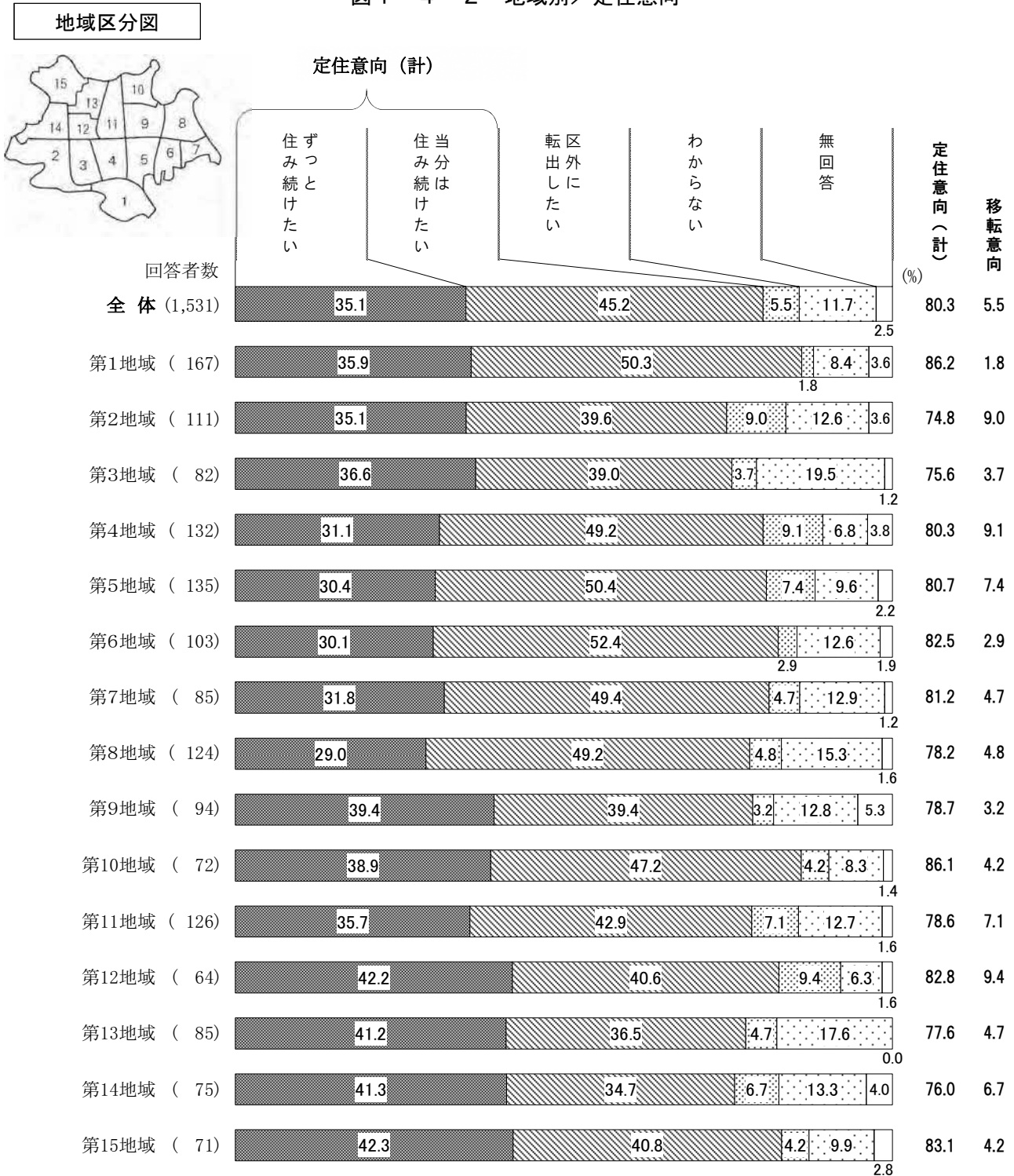


※ 平成12年度までと平成13年度以降では、調査方法（平成12年度までは訪問面接法、平成13年度以降は郵送配布郵送回収法）、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

イ クロス集計・地域別／定住意向

地域別でみると、【定住意向】は第1地域で86.2%と最も高く、次いで第10地域（86.1%）が僅差で続いている。一方、「区外に転出したい」という【移転意向】は第12地域で9.4%と最も高く、次いで第4地域で9.1%となっている。

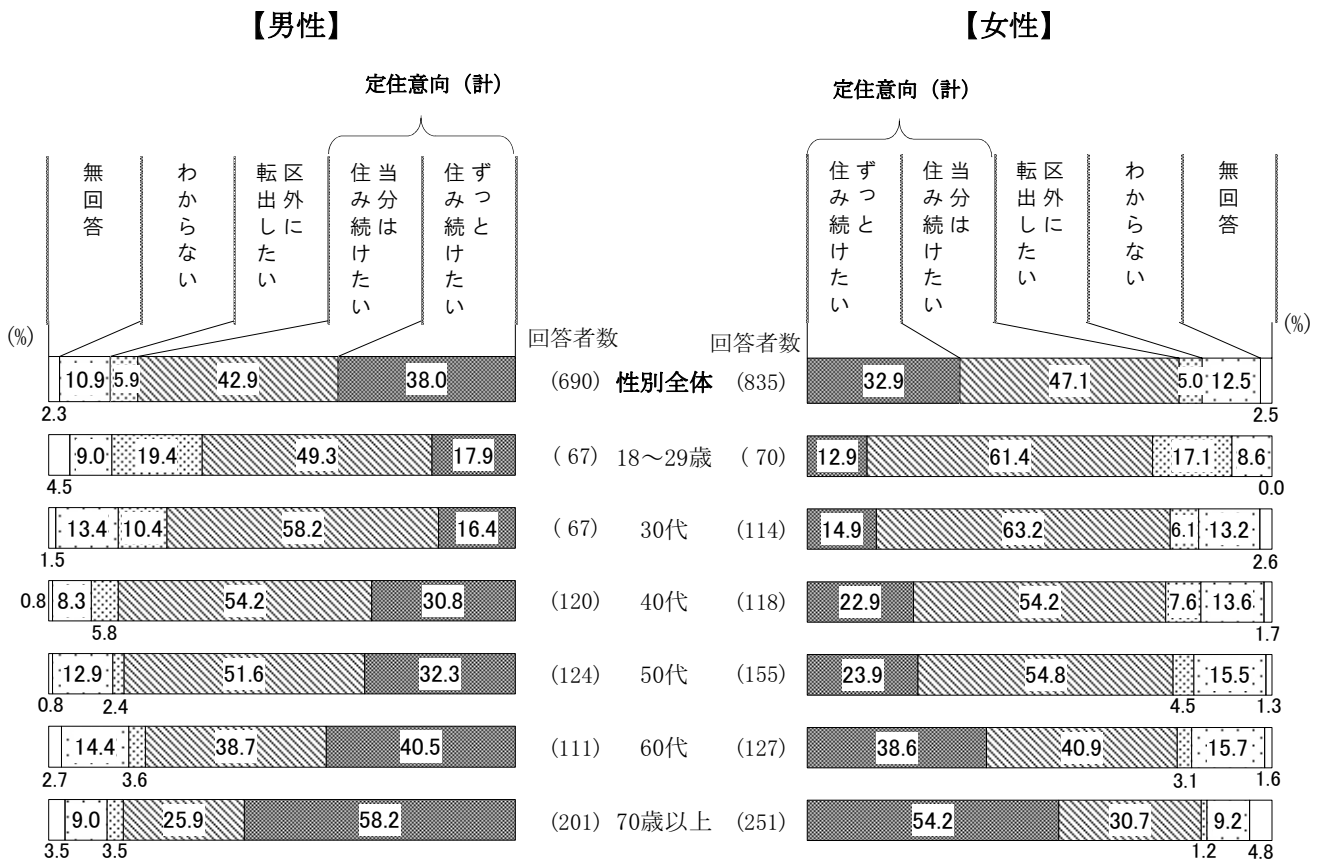
図1-4-2 地域別／定住意向



ウ クロス集計・性別、性・年代別／定住意向

(ア) 性別で見ると、【定住意向】は、男性（80.9%）と女性（80.0%）に大きな違いはない。
 (イ) 性・年代別で見ると、【定住意向】は、男性の40代が85.0%で最も高く、次いで、男女の70歳以上（男性84.1%、女性84.9%）と続いている。一方、「区外に転出したい」という【移転意向】は男女ともに18～29歳（男性19.4%、女性17.1%）が他の性・年代層に比べて高くなっている。

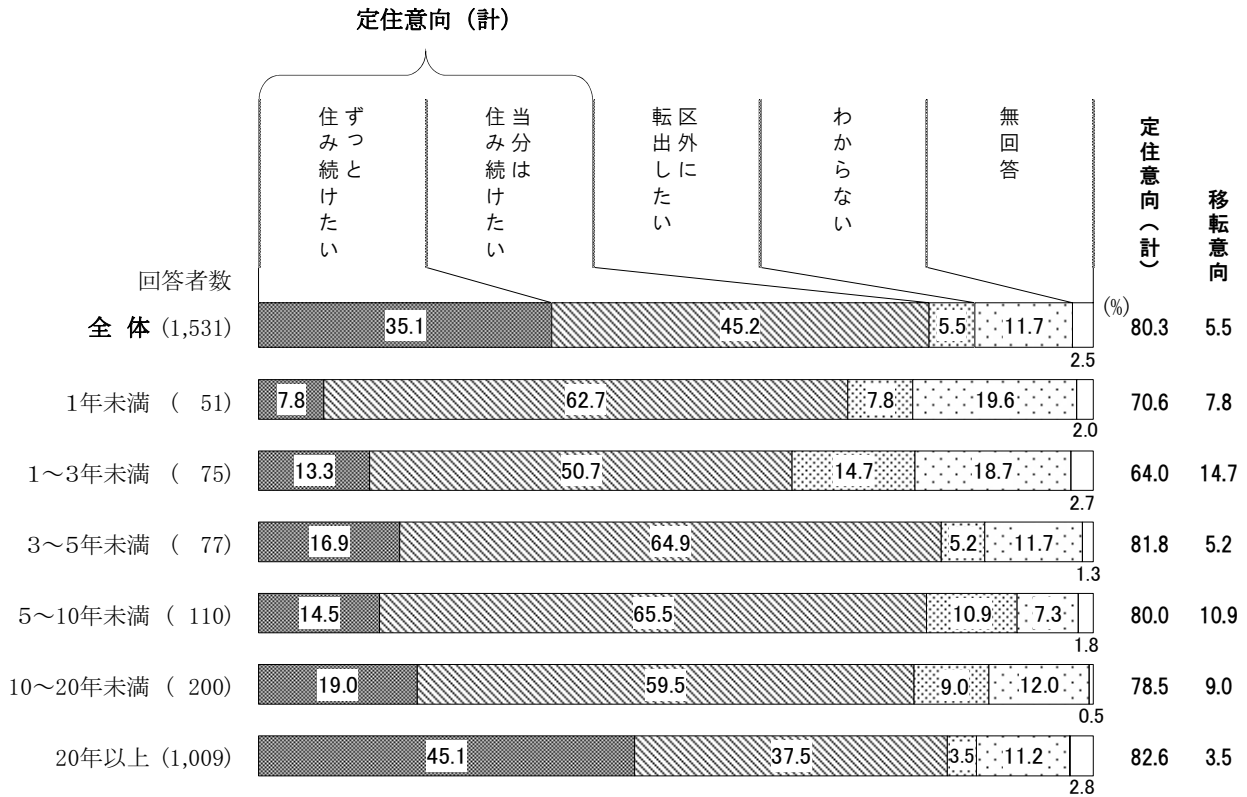
図1-4-3 性別、性・年代別／定住意向



エ クロス集計・居住年数別／定住意向

居住年数別で見ると、【定住意向】は20年以上で82.6%と最も高く、3～20年未満で8割前後、1年未満で7割、1～3年未満で6割台半ばとなっている。一方、「区外に転出したい」という【移転意向】は、1～3年未満で1割台半ばと最も高くなっている。

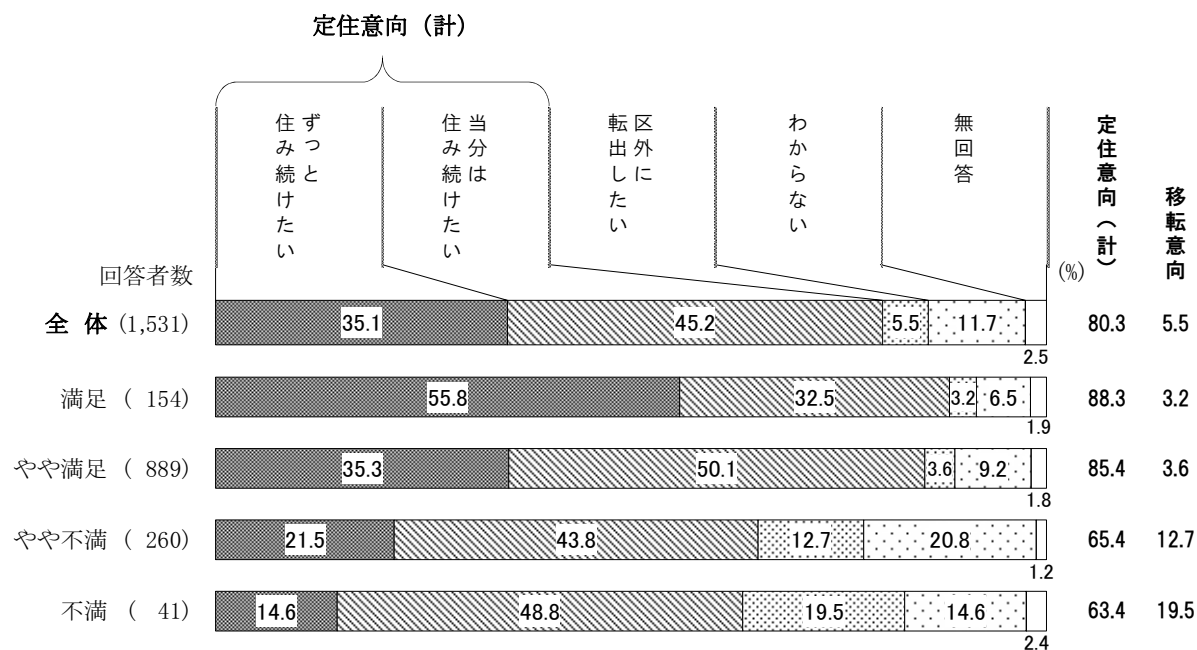
図1-4-4 居住年数別／定住意向



オ クロス集計・区政満足度別／定住意向

区政満足度別にみると、【定住意向】は満足（88.3%）とやや満足（85.4%）の区政に満足している層が8割台と高く、やや不満（65.4%）と不満（63.4%）の区政に不満がある層が6割台と低くなっており、区政への満足度によって定住意向の割合に差がみられる。

図1-4-5 区政満足度別／定住意向



カ クロス集計・ライフステージ別／定住意向

ライフステージ別でみると、【定住意向】は〈家族成長前期〉が85.2%で最も高く、次いで、〈高齢期〉が82.9%となっている。詳細区分でみると、〈一人暮らし高齢者〉が88.8%で最も高く、次いで〈家族成長中学校期〉が87.5%となっている。一方、〈家族形成期〉と〈独身期〉で7割台前半と他のライフステージに比べて低くなっている。

図1-4-6 ライフステージ別／定住意向

